

1の1	ジャンル	自然・山	
	名称	せんがみね 千ヶ峰	
解説	<p>ひがしはりまちいき もつ たか やま たか 東播磨地域で最も高い山で、高さは1,005m。市原や三谷 などから登山道がついている。毎年秋に小学校の登山で のぼ やま てんき ひ ちようじよう あかしかいきようおおはし み 登る山。天気の良い日には、頂上から明石海峡大橋が見 える。</p>		

1の2	ジャンル	自然・山	
	名称	みくに だけ 三国岳	
解説	<p>すぎはらだに いちばんきた たか やま とりま とざんぐち 杉原谷の一番北にある高さ855mの山。鳥羽に登山口が ある。名前の由来は、播磨・但馬・丹波の三つの国にまた がる山であることから。</p>		

1の3	ジャンル	自然・山	
	名称	りゆうが たけ 竜ヶ岳	
解説	<p>きよみず ひがし たか やま ひようご やま せん 清水の東にそびえる高さ817mの山。兵庫の山100選に えら きよみず とざんぐち 選ばれている。清水に登山口がある。</p>		

1の4	ジャンル	自然・山	
	名称	おおい どやま 大井戸山	
解説	<p>きよみず たんじ すその ひろ たか やま 清水から丹治にかけて裾野が広がる高さ794mの山。ラベ ンダーパークに登山口がある。学校から北東の方角に見 える山。</p>		

1の5	ジャンル	自然・山	
	名称	さき みね 篠ヶ峰	
解説	<p>たんじ むら ひがしがわ たか やま ちようじよう ぼう 丹治の村の東側にそびえる高さ827mの山。頂上には防 さいぎようせいむせん でんぱ とう た 災行政無線の電波塔などが建っている。</p>		

1の6	ジャンル	自然・山	
	名称	しもやま 下山	
解説	<p>がっこうからにしがわに見える山。なだらかな裾野に、今は工場が建っているが、昔は牛の放牧場になっていて、春や秋には、小学校からお弁当をもってピクニックに出かけたり、冬には竹スキーをしたりした。</p>		

1の7	ジャンル	自然・川	
	名称	すぎはらがわ 杉原川	
解説	<p>こうくうのちゅうおうをながれる大きな川。清流でイッサンコ、ヤマメなどの魚がすんでいる。西脇市で加古川と合流する。</p>		

1の8	ジャンル	自然・川	
	名称	おおたまにがわ 大玉谷川	
解説	<p>みくにだけからやまよりかみがわをながでたにがわすぎはらがわさいしょに合流する谷川。</p>		

1の9	ジャンル	自然・川	
	名称	みやたにがわ 宮谷川	
解説	<p>みくにだけからながたにがわとりまみちえきふきんすぎはらがわに合流する。</p>		

1の10	ジャンル	自然・川	
	名称	とりまひがしたにがわ 鳥羽東谷川	
解説	<p>とりまひがしすぎはらがわに合流する谷川。</p>		

1の11	ジャンル	自然・川	
	名称	みやまえたにがわ 宮前谷川	
解説	きよみず にしのみやじんじゃ よこ なが たにがわ 清水の西宮神社の横を流れる谷川。		

1の12	ジャンル	自然・川	
	名称	おこだにたにがわ 大小谷谷川	
解説	きよみずしも ていりゆうじよまえ なが たにがわ 清水下のバス停留所前に流れてくる谷川。		

1の13	ジャンル	自然・川	
	名称	きよみずひがしたにがわ 清水東谷川	
解説	きよみず ひがしがわ やま きよみず むら なか なが おお たにがわ 清水の東側の山から清水の村の中を流れる大きな谷川。		

1の14	ジャンル	自然・川	
	名称	とどろきたにがわ 轟谷川	
解説	とどろき きた なが かわ こくぞうどう そば なが 轟の北を流れる川。虚空蔵堂の側を流れる。		

1の15	ジャンル	自然・川	
	名称	いちはらたにがわ 市原谷川	
解説	せんがみね いちはら なが かわ なが およそ 千ヶ峰市原コースから流れる川。長さは約1.3km。		

1の16	ジャンル	自然・川	
	名称	たんじたにがわ 丹治谷川	
解説	ささがみね さくらこうえん とお なが かわ なが やく 篠ヶ峰から桜公園を通過して流れる川。長さは約2km。		

1の17	ジャンル	自然・川	
	名称	みだにがわ 三谷川	
解説	ハーモニーパークから流れる川。長さは約3km。地元ではみだに たにがわ三谷谷川と呼ぶ。		

1の18	ジャンル	自然・川	
	名称	たき たにがわ 滝の谷川	
解説	はせがい ひがし はせがいたにがわ なが かわ箸荷の東から箸荷谷川に流れる川。		

1の19	ジャンル	自然・川	
	名称	しゃくしろたにがわ 杓城谷川	
解説	たき たにがわ おな はせがいたにがわ なが かわ滝の谷川と同じく、箸荷谷川に流れる川。		

1の20	ジャンル	自然・川	
	名称	はせがいたにがわ 箸荷谷川	
解説	はせがい むら なか なが おお かわ なが やく箸荷の村の中を流れる大きな川。長さは約1km。		

1の21	ジャンル	自然・川	
	名称	かどむらたにがわ 門村谷川	
解説	かどむら むら なか なが かわ なが やく門村の村の中を流れる川。長さは約2km。		

1の22	ジャンル	自然・川	
	名称	かわたにがわ 河谷川	
解説	かんのんじ みなみ かばさか なが かわ観音寺の南、樺坂を流れる川。		

1の23	ジャンル	自然・滝	
	名称	おんたき みやたにがわ 雄滝 (宮谷川)	
解説	とりま みやたにがわ 鳥羽の宮谷川にある落差およそ6mの滝。 三国峠の林道 ぞいにある。		

1の24	ジャンル	自然・滝	
	名称	めんたき みやたにがわ 雌滝 (宮谷川)	
解説	とりま みやたにがわ 鳥羽の宮谷川にある落差およそ3mの滝。 三国峠の林道 ぞいにある。		

1の25	ジャンル	自然・滝	
	名称	おんたき みだにおおたき 雄滝 (三谷大滝)	
解説	せんがみね みだに とざん 千ヶ峰三谷登山コース沿いにある落差およそ15mの滝。		

1の26	ジャンル	自然・滝	
	名称	めんたき みだにおおたき 雌滝 (三谷大滝)	
解説	せんがみね みだに とざん 千ヶ峰三谷登山コース沿いにある落差およそ40mの滝。		

1の27	ジャンル	自然・道	
	名称	こくどう ごう 国道427号	
解説	すぎはらだに なんぼく とお いちばん おお どうろ ばんしゅう 杉原谷を南北に通る一番大きな道路。播州トンネル出口 から奥豊部の端まで11.7km。		

1の28	ジャンル	自然・道	
	名称	しゅようち ほうどう たんば か み せん ごう 主要地方道丹波・加美線78号	
解説	きよみず うんもんじ のぼ みち 清水の雲門寺へ登る道とラベンダーパークへ行く道、両方 けんどう ごうせん が県道78号線。		

1の29	ジャンル	自然・道	
	名称	けんどう かどむら さんなんせん ごう 県道 門村・山南線293号	
解説	はせがい むら つう みち じっさい たんばし さんなんちょう 箸荷の村に通じる道。実際は丹波市山南町へは行けな い。		

1の30	ジャンル	自然・道	
	名称	町道・林道(ちょうどう・りんどう)	
解説	すぎはらだにちく 杉原谷地区のほとんどが町道です。林道は36路線およそ 40Kmもある。		

1の31	ジャンル	自然・峠	
	名称	ばんしゅせうげ 播州峠	
解説	たんばし あおがきちょう 丹波市青垣町へつながる道。トンネルのちょうどまなか たりからすぎはらだにしょうがっこう たりから杉原谷小学校区になる。		

1の32	ジャンル	自然・峠	
	名称	みくにとうげ 三国峠	
解説	みくにだけ とざんぐち 三国岳登山口から登る峠、昔の人はよく歩いて通ってい た。		

1の33	ジャンル	自然・峠	
	名称	きよみずさか 清水坂	
解説	<small>たんば はりま さかい</small> 丹波・播磨の境となる峠。 <small>とうげ さとやま</small> 里山ボランティアによる多可町と <small>たんばし こうりゅう おこな</small> 丹波市の交流も行われている。		

1の34	ジャンル	自然・峠	
	名称	いちほらとうげ 市原峠	
解説	<small>せんがみね いちはら とざん</small> 千ヶ峰市原登山コースへの道、 <small>みち かみかわちようしんでん つう</small> 神河町新田に通じる。		

1の35	ジャンル	自然・峠	
	名称	おおみ さか 大見坂	
解説	<small>はせがい さんなんちよう ぬ みち じっさい つうこう</small> 箸荷から山南町へ抜ける道。実際は通行できない。		

1の36	ジャンル	自然・峠	
	名称	かばさかとうげ 樺坂峠	
解説	<small>むかし こうざん</small> 昔、鉱山があった峠。 <small>とうげ かばさか こうざん</small> 樺坂鉱山。		

1の37	ジャンル	自然・池	
	名称	やましるいけ 山城池	
解説	<small>うんもんじ うら</small> 雲門寺の裏にあるため池。 <small>いけ ちよすいりよう</small> 貯水量は700m ³ 。		

1の38	ジャンル	自然・池	
	名称	たかやまいけ 高山池	
解説	<small>きよみず ほくぶ たいいくかん ひがし</small> 清水の北部体育館の東にある池。 <small>いけ ちよすいりよう</small> 貯水量は600m ³ 。		

1の39	ジャンル	自然・池	
	名称	しんぐういけ 神宮池	
解説	いちばら こうこう 市原の孝行ロードのそばにある池。貯水量は12250m ³ 。 すぎはら だに ばんめ おお いけ 杉原谷で2番目に大きな池。		

1の40	ジャンル	自然・池	
	名称	おおいけ 大井池	
解説	かどむらじょうじ した 門村浄居寺の下にある池、貯水量は2500m ³ 。		

1の41	ジャンル	自然・池	
	名称	さらいけ 皿池	
解説	はせがい くみあい おおいけ 箸荷の組合大池のそばにある小さな池。貯水量は12000 m ³ 。		

1の42	ジャンル	自然・池	
	名称	こいけ 小池	
解説	はせがい くみあい おおいけ 箸荷の組合大池のそばにある小さな池。貯水量は500 m ³ 。		

1の43	ジャンル	自然・池	
	名称	くみあい おおいけ 組合大池	
解説	はせがい おおいけ 箸荷大池とも呼ばれる。杉原谷で最も大きな池。小学校の プールおよそ93杯分の水を貯めることができる。		

1の44	ジャンル	自然・魚	
	名称	ヒラベ	
解説	<small>せいしき なまえ</small> 正式な名前はヤマメ。サクラマスのうち海に降りず川にす <small>うみ お</small> みついたもの。		

1の45	ジャンル	自然・魚	
	名称	アマゴ	
解説	<small>うみ お</small> サツキマスのうち海へ降りず川にすみついたもの。赤い斑 <small>あか はん</small> 点がある。 <small>てん</small>		

1の46	ジャンル	自然・魚	
	名称	ゴトンボ	
解説	<small>せいしき なまえ</small> 正式な名前はアブラハヤ。ぬめりが強い。 <small>つよ</small>		

1の47	ジャンル	自然・魚	
	名称	アカシチ	
解説	<small>せいしき なまえ</small> 正式な名前はアカザ。赤っぽく、せびれとむねびれに毒針 <small>あか</small> をもつ。ケンタとも呼ばれる。 <small>どくばり</small> <small>よ</small>		

1の48	ジャンル	自然・魚	
	名称	ギンタ	
解説	<small>せいしき なまえ</small> 正式な名前はギギ。ナマズ科の魚、毒はない。 <small>か さかな どく</small>		

1の49	ジャンル	自然・魚	
	名称	アカモト	
解説	<small>せいしき なまえ</small> 正式な名前はオイカワ。 <small>はんしよくき</small> 繁殖期(5月～8月)のオスはきれいな模様ができる。		

1の50	ジャンル	自然・魚	
	名称	イダ	
解説	<small>せいしき なまえ</small> 正式な名前はウグイ。 <small>こぼね おお ねこ た</small> 小骨が多く、猫も食べたがらないのでネコヨラズとも呼ばれる。		

1の51	ジャンル	自然・魚	
	名称	イツサンコ	
解説	<small>せいしき なまえ</small> 正式な名前はヨシノボリ。 <small>たいちよう ていど ちい さかな</small> 体長5cm程度の小さな魚、てんぷらやつくだににするとおいしい。		

1の52	ジャンル	自然・魚	
	名称	ババト	
解説	<small>せいしき なまえ</small> 正式な名前はカジカ。 <small>かわぞこ す あたま おお さかな</small> 川底に住む頭の大きな魚。		

1の53	ジャンル	自然・魚	
	名称	ヨツメ	
解説	<small>せいしき なまえ</small> 正式な名前はオヤニラミ。 <small>ほんとう め</small> 本当の目のうしろに目のような模様がある。		

1の54	ジャンル	自然・魚	
	名称	メダカ	
解説	<p>すぎはらだに <small>ぜつめつ</small> 杉原谷では絶滅したと言われていたが、<small>さいきんせいそく</small> 最近生息しているとのうわさがある。</p>		

1の55	ジャンル	自然・魚	
	名称	ウナギ	
解説	<p><small>かわ</small> 川で生まれて、<small>うみ</small> 海で育ち川に戻ってくる。まだまだなぞの <small>おお</small> 多い魚。かば焼きにするとおいしい。<small>へいせい</small> 平成22年頃にも、<small>みだに</small> 三谷谷川で捕れたことがある。</p>		

1の56	ジャンル	自然・魚	
	名称	ドジョウ	
解説	<p><small>さいきん</small> 最近ではあまり見かけなくなった。<small>すいりや</small> 水路やたんぼにすんでいる。</p>		

1の57	ジャンル	自然・植物	
	名称	シュンラン	
解説	<p>ランのなかま。<small>きゆうかみちよう</small> 旧加美町の町花。</p>		

1の58	ジャンル	自然・植物	
	名称	<small>ばいかも</small> 梅花藻	
解説	<p><small>か</small> キンポウゲ科の多年草で、<small>さんちせiryu</small> 山地清流など澄んだ水に <small>す</small> 自生。<small>おおぶくろ</small> 大袋を流れる水路で、<small>まいねん</small> 毎年5月から <small>がつ</small> 8月頃までに <small>み</small> 見られ、<small>うめ</small> 梅の花のようにかわいい花を持つ水草が、<small>みちゆ</small> 道行く人の <small>こころ</small> 心を和ませしてくれる。</p>		

1の59	ジャンル	自然・植物	
	名称	ユキノシタ	
解説	<small>かわ ちか しめ</small> 川の近くの湿ったところに <small>き</small> 咲く、じみだけどかわいい <small>はな</small> 花。		

1の60	ジャンル	自然・植物	
	名称	ダンジ	
解説	<small>せいしき なまえ</small> 正式な名前はイタドリ。ポキッと折って皮をむくと <small>た</small> 食べられる。ちよつとすっぱい。		

1の61	ジャンル	自然・植物	
	名称	ヘビイチゴ	
解説	ドクイチゴともいわれるが、 <small>どく</small> 毒はない。		

1の62	ジャンル	自然・植物	
	名称	シバハリ	
解説	<small>せいしき なまえ</small> 正式な名前はアマタケ。かさのうらが、あみのようなかたちをしている。 <small>た</small> 食べられる。		

1の63	ジャンル	自然・植物	
	名称	ヒラタケ	
解説	みそ汁の <small>しる</small> 具 <small>ぐ</small> にするとおいしい。		

1の64	ジャンル	自然・植物	
	名称	マツタケ	
解説	食用きのこの王者、むかしはいっぱい生えていたらしい。		

1の65	ジャンル	自然・植物	
	名称	サルノコシカケ	
解説	さるが腰かけられるくらいおおきくなる。漢方薬のざいりょうにもつかわれる。		

1の66	ジャンル	自然・植物	
	名称	タラノキ	
解説	くきには鋭くとがったとげがいっぱい。新芽をてんぷらにすると、とてもおいしい。		

1の67	ジャンル	自然・植物	
	名称	ゼンマイ	
解説	シダ植物。芽が出てすぐの若葉は渦を巻いている。		

1の68	ジャンル	自然・植物	
	名称	ワラビ	
解説	シダ植物。根からとれるデンプンから、わらびもちが作られる。		

1の69	ジャンル	自然・植物	
	名称	フキノトウ	
解説	フキの ^{あか} 赤ちゃん。雪 ^{ゆき} どけの ^は ころに生えてくる。細 ^{こま} かくきざんで味噌 ^{みそ} と炒 ^{いた} めるとおいしい。		

1の70	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	オオサンショウウオ	
解説	国 ^{くに} の天然 ^{てんねん} 記念 ^{きねん} 物 ^{ぶつ} 、体 ^{たい} 長 ^{ちよう} 70cm以上になるが、め ^{いじよう} ったに ^み 見 ^み つ ^つ けられない。三 ^{みだに} 谷 ^{いち} や市 ^{はら} 原 ^{たに} の谷 ^{がわ} 川 ^み で見 ^み つ ^つ か ^か つ ^つ た ^た こ ^こ と ^と が ^が あ ^あ る。		

1の71	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	モリアオガエル	
解説	国 ^{くに} の天然 ^{てんねん} 記念 ^{きねん} 物 ^{ぶつ} 、み ^う ず ^え た ^き ま ^{えだ} り ^{あわ} の ^あ 上 ^わ の ^え 木 ^ぎ の ^{えだ} 枝 ^{えだ} に ^あ 泡 ^{あわ} で ^あ つ ^つ つ ^つ ん ^ん だ ^だ 卵 ^{たまご} を ^う 産 ^う み ^つ 付 ^つ ける。た ^あ ん ^ぜ ぼ ^う の ^う 畦 ^つ に ^う 生 ^つ み ^つ 付 ^つ ける ^つ こ ^こ と ^と も ^も あ ^あ る。		

1の72	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ニホンアマガエル	
解説	どこに ^み でも ^{ちい} 見 ^み られる ^{ちい} 小 ^{ちい} さ ^{ちい} く ^{ちい} か ^{ちい} わ ^{ちい} い ^{ちい} か ^{ちい} え ^{ちい} る。		

1の73	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	トノサマガエル	
解説	よく ^み 見 ^み る ^み カ ^み エ ^み ル、か ^み ら ^み だ ^み の ^み も ^み よ ^み う ^み が ^み と ^み く ^み ち ^み ょう。		

1の74	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	カジカガエル	
解説	きれいな川 ^{かわ} にすむ。「フィフィ」と美しく鳴く。		

1の75	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	イモリ	
解説	みずべ ^{みずべ} にすむ両生類 ^{りょうせいるい} の小動物 ^{しょうどうぶつ} 。腹 ^{はら} が赤い ^{あか} 。		

1の76	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ヤモリ	
解説	ヤモリとは家 ^{いえ} を守る ^{まも} の意味 ^{いみ} 。家 ^{いえ} の周り ^{まわ} や家 ^{いえ} の中 ^{なか} で見 ^み かけることがある ^す 。姿形 ^{すがたかたち} はイモリ ^に に似 ^に ているが、ヤモリ ^は は爬虫類 ^{はちゅうるい} の仲間 ^{なかま} 。		

1の77	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ヒメボタル	
解説	体長 ^{たいちよう} 7mmほどの小 ^{ちい} さなほたる ^は 。歯 ^は 切れよく点滅 ^{てんめつ} する。		

1の78	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ヘイケボタル	
解説	ゲンジボタル ^{くら} と比べ ^{こがた} やや小型 ^{ほたる} の螢。		

1の79	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ゲンジボタル	
解説	<p>川の水の汚れや川の工事により数が減っていたが、保護活動の結果、最近では増えている。</p>		

1の80	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ゲンゴロウ	
解説	<p>きれいな水田、池に住む昆虫。水の中に住む甲虫の中では国内最大級。(体長33mmから40mm)</p>		

1の81	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	クロゲンゴロウ	
解説	<p>ゲンゴロウより小さく、羽が黒い。</p>		

1の82	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ホウネンエビ	
解説	<p>夏の初めの水田であおむけに泳いでいるのを見ることができる。</p>		

1の83	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	カワエビ	
解説	<p>川や池など淡水に住むエビ。生きているときは体が透き通っている。</p>		

1の84	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ニホンジカ	
解説	オスにはりっぱな角 ^{つの} があり、毎年 ^{まいとしは} 生え代 ^か わる。		

1の85	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ニホンザル	
解説	たまに見 ^み かけるが、近 ^{ちかよ} 寄らないように。		

1の86	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	イノシシ	
解説	こどものイノシシは、瓜 ^{うりぼう} 坊とよばれる。		

1の87	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	タヌキ	
解説	おなじみのタヌキ。おくび ^{せいかく} ょうな性格。		

1の88	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	キツネ	
解説	いぬ ^{いぬ} とよく似 ^に ているが、しっぽ ^{おお} が大きい。		

1の89	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	イタチ	
解説	あし ^{あし} が短 ^{みじか} く胴 ^{どう} が長 ^{なが} い、すばしっ ^に こく逃 ^{あし} げ足 ^{あし} がはやい。		

1の90	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	アライグマ	
解説	タヌキににているが、ふさふさした ^{おお} 大きなしっぽが ^{とくちょう} 特徴。外 ^{がい} 国 ^{こく} から日本 ^{にほん} に入 ^{はい} ってきた動物 ^{どうぶつ} 。		

1の91	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ヌートリア	
解説	ねずみににているが、ねこ ^{くらい} 位の ^{おお} 大きさである。外国 ^{がいこく} から日 ^{にほ} 本 ^{ほん} に入 ^{はい} ってきた動物 ^{どうぶつ} 。		

1の92	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	ハツカネズミ	
解説	家 ^{いえ} の中 ^{なか} でもたま ^み に見 ^み かける小 ^{ちい} さなねずみ。		

1の93	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	モグラ	
解説	畑 ^{はたけ} やたんぼ ^{つち} の土 ^{なか} の中 ^す に住 ^す んでいる。トンネル ^{めいじん} ほりの名人 ^{めいじん} 。		

1の94	ジャンル	自然・その他動物	
	名称	イシガメ	
解説	最近 ^{さいきん} ほとんど見 ^み かけなくな ^な った。15cmから20cm ^{くらい} のカ ^カ メ。		

2の1	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	やまよりかみ あおたまじんじや 山寄上・青玉神社	
解説	<p>まつ 祀られている神は天目一箇命 と五百箇盤石命で、建てられた年代はよく分からない。本殿と拝殿があり、18戸の氏子をもっている。秋まつりでは、曳き山が集落内を回る。</p>		

2の2	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	とり ま あおたまじんじや 鳥羽・青玉神社	
解説	<p>あまのとまのみこと おおとしみおやがみのみこと まつ 天戸間見命 と大歳御祖命 を祀っている。建てられた年代はわからない。最初、三国岳の頂上にあつたが、のちに山麓に近い今の場所に移されたと伝えられている。また一説では、式の天目一箇神社 といわれている。天戸間見命とは天目一箇神の別名で、青玉というのは、命が神木におふ 触れになったところ、片眼を失明されて青色になったことからそう呼ばれるようになったという言い伝えがある。本殿と幣殿と拝殿があり、境内には杉が林立し、静かな空間を作り出している。中でも拝殿を拜むように立つ7本の杉は、樹齢600年～1000年という大きな木で、県指定天然記念物である。</p>		

2の3	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	きよみず うんもんじ 清水・雲門寺	
解説	<p>おうえい 応永8年(1401年)仏徳大通禪師によって開かれた臨済宗うみょうしんじは 妙心寺派のお寺。十一面観世音菩薩を本尊としている。多可町では、禅の道場として有名なお寺で、日本建築の粋をあつ 集めた大伽藍と庭園は素晴らしく、わびさびを感じさせてくれる。主な檀家は、山寄上、鳥羽、清水、轟、西山、山口である。</p>		

2の4	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	清水・揖保薬師 きよみず いぼやくし	
解説	<p>清水上のバス停から西の谷を歩いていくとたどりつく。 お堂にある箒でイボを撫でると、イボが治るといわれている。</p>		

2の5	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	清水・西宮神社 きよみず にしのみやじんじゃ	
解説	<p>積羽八重詞代主命を祀る。創立年代は分からない。応永17年(1410年)12月に本殿を再建し、青玉大歳大明神と言 い、同じ集落の山城にあった天神を東宮と呼んでいたこ とから、方角から西にあるこの神社を西宮 というように なつたと伝えられている。現在の本殿は安政5年(1858年) に再建。幣殿と拝殿をあわせもっている。</p>		

2の6	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	轟・虚空蔵さん とどろき こくぞう	
解説	<p>8月下旬になると、集落の女性たちが集まり、お玉と呼ば れる紅白団子を祀って、数珠繰りが行われる。</p>		

2の7	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	とどろき かわかみじんじや 轟・河上神社	
解説	<p>とどろき やまぐち にしやま しゅうらくきょうゆう じんじや か れい み こし 轟・山口・西山の3集落共有の神社。昔から、華麗な御輿 があり、毎年10月、各地区から当番の担ぎ手が白装束で 3集落を回って練り歩く。約20年あまり前から子ども御輿 が3台かわり、盛大なまつりとなっている。毎年3月に、区 長さんの指示のもと、1年間お当番を勤められた『過番』 と、これから受けられる『上番』がともに拝殿でお禱状箱の 受け渡しをして、河上神社のお当番交替(引継)を行う。ま た、昔、南の和田垣の上の台地の山に引場ヶ谷と呼ばれ る平地があり、ここで弓的がなされていたという言い伝えが あることから、悪払いの弓的の行事がお禱渡しの日に行わ れる。狛犬が上にそり返っている。</p>		

2の8	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	とどろき かわすそ じんじや 轟・川裾神社	
解説	<p>かわかみじんじやきたがわ ちい やしろ まつ かわすそ 川上神社北側の小さな社に祀られており、川裾まつりのと きは、杉原川沿いの大きな岩の上にご神体が祀られる。</p>		

2の9	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	いちはら せんじょう じ 市原・専浄寺	
解説	<p>じょう どしゅう てら すうじゅうねんまえ きゅうしんしやうにん ひら つた 浄土宗のお寺で、三百数十年前、峯心上人が開いたと伝 えられている。本尊は阿弥陀如来(国宝級)。背の高さ四尺 八寸の木造の坐像で、金色に美しく輝いている。主な檀家 は市原。</p>		

2の10	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	いちほら くまのじんじや 市原・熊野神社	
解説	いざなぎのみこと いざなみのみこと おおとしのかみ まつ そうりつ 伊弉諾尊、伊弉冉尊、大年神 を祀っており創立はよ く分からない。古検地以降に建てられたものとみられる。第 一・第三本殿と拝殿がある。毎年、この神社の宵宮まつり を盛り上げるために、隣保対抗の村芝居が行われている。		

2の11	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	たんじ にっこうじ つうしやう もんじゆどう 丹治・日光寺 (通称 文殊堂)	
解説	つうしやう もんじゆどう にっこうじ もんじゆほさつ 通称、文殊堂。日光寺の文殊菩薩は、今から約1200年前 に『千日の行』に訪れた法道仙人の手によって祀られたと されており、知恵の文殊様として多くの参拝者がある。1月 下旬には知恵の文殊まつりがあり、住職が籠に乗ってお堂 を訪れ、法要が行われる。		

2の12	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	おおぶくろ だいじんぐう 大袋・大神宮	
解説	じもと 地元では「だいじゆんさん」と呼ばれる。その昔、伊勢神宮 にお参りするのには大変遠く、便利が悪かったので、近くに あまてらすおおみかみ をまつ ようぼう ふ げんざい 天照大宮神をお祀りする要望が増え、現在のところにお祀 りしている。		

2の13	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	おおぶくろ かまたり じんじや 大袋・鎌足神社	
解説	てん じてんのう つか たいか ねん たいか かいしん おこな 天智天皇に仕え、大化1年(645年)に大化の改新を行った ふじわらのかまたり まつ じんじや 藤原鎌足を祀る神社。		

2の14	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	みだに おおとしじんじや 三谷・大歳神社	
解説	<p>まつ 祀られている神は大歳神で、創立年代は分からない。明治 41年(1908年)からはうかのみたまのみこと ほんだわけのみこと あ ねん 祀るようになった。本殿と幣殿と拝殿がある。秋まつりで まつ ずもう ほうのう は、子ども相撲を奉納する。</p>		

2の15	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	はせがい おおとし じんじや 箸荷・大歳神社	
解説	<p>まつ 祀られている神は大歳神で、創立年月日は分からない。元 げん 禄13年(1700年)に本殿を再建した。本殿と拝殿がある。2 ろく 月にはももてまつりがある。</p>		

2の16	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	はせがい あたご じんじや 箸荷・愛宕神社	
解説	<p>はせがいおおいけ 箸荷大池の上の山の中にある。8月末にあたご ひ がある。</p>		

2の17	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	はせがい かわすそじんじや 箸荷・川裾神社	
解説	<p>けんどうかどむら さんなんせん ちょうどうかわひがしせん まじ こうさてん みなみがわ 県道門村・山南線と町道川東線が交わる交差点の南側の こみや まつ 小宮に祀られており、毎年7月に川裾まつりが行われる。</p>		

2の18	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	かどむら じょうごぜんじ 門村・浄居禅寺	
解説	<p>りんざいしゅうみょうしん じ は ほんぞん かんぜ おん ぼ さつ むかし 臨済宗妙心寺派のお寺で、本尊は観世音菩薩。昔からこ こには かのんどう えいろく すぎはらひょうだ ゆう 安久がこれを改築し、浄居寺という名にして自分の菩提寺 やすひさ かいちく じょうごじ な じぶん ぼだいじ としたといわれている。主な檀家は、おも だんか いちはら たんじ おおふくろ みだ 谷、箸荷、門村。</p>		

2の19	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	かどむら いつくまじんじや 門村・巖島神社	
解説	<p>いちきしまひめのみこと ほんだわけのみこと まつ そうけんねんだい わ 一杵島比売命と誉田別命を祀る。創建年代は分からない。 となりにある浄居寺の鎮守として創立されたと伝えられる。 この地に城を造ったといわれる杉原兵太夫安久に崇敬さ れていたが、天正2年(1574年)、杉原兵太夫安久が討ち 滅ぼされて荒廃したと伝えられている。貞亨3年(1686 年)、社殿を改築し再興された。営造物としては、本殿、祝 詞殿、拝殿がある。</p>		

2の20	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	すぎはら さいきょうじ 杉原・西教寺	
解説	<p>じょうど しんしゅうほんがんじ は てら ほんぞん ぶんか 浄土真宗本願寺派のお寺で、本尊は文化6年(1809年)4 月20日に献納された阿弥陀如来。お寺が開かれたのは慶 長7年(1602年)だが、再度火災に遭い、現在の本堂は戦 後に再建されたものである。安永2年(1773年)の名のあつ た喚鐘は戦時中に提供され、惜しくも今はない。主な檀家 は杉原。</p>		

2の21	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	すぎはら はちまんじんじや 杉原・八幡神社	
解説	<p>けいちょう ころ ちい ほんら めいじ わん はちまんじんじや 慶長の頃から小さな祠があり、明治16年から八幡神社と 呼ばれるようになった。誉田別命が祀られている。以前は こくどうぞ ほんだわけのみこと まつ いぜん 国道沿いにあったが、歩道の新設工事に伴い、集落の北 西の山際に移された。1月に厄神祭が行われる。</p>		

2の22	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	おく とよべ おおとし じんじや 奥豊部・大歳神社	
解説	<p>しゅうらく にし さんちゅう やしろ おおとし かみ まつ めいじ 集落の西の山中に社があり、大歳神が祀ってある。明治1 6年に創建されたものである。</p>		

2の22	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	奥豊部・浄照寺 おく とよべ じょうしょうじ	
解説	<p>主な檀家は奥豊部。浄土真宗本願寺派のお寺。もとは、境内に祠を祀り、真宗の総道場として栄えていたが、寛政8年(1796年)、本山より本尊の阿弥陀如来を勧請し開いたともいわれている。</p>		

2の23	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	観音寺・観音寺 かんのんじ かんのおんじ	
解説	<p>天平宝字(757年)のころ、法道仙人によって開かれたと伝えられる真言宗高野山派のお寺。本尊は十一面観音坐像。不動明王、毘沙門天を脇待に安置されているこの寺は、もともと堂山に築かれていたが、天正年間(1573年～1592年)に戦で焼け、山麓の現在地に移されたようである。主な檀家は観音寺。</p>		

2の24	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	観音寺・青倉神社 かんのんじ あおくら じんじや	
解説	<p>観音寺の山の中腹に、大きな岩板の上でひっそりとたたずむ祠は、神戸の湊川神社の書物にも記されている神様で、チョロチョロと流れ出る岩清水で目を洗うと、目の病気が治ると言い伝えられている。目の病気に大変ご利益があるとわれ、多くの人々がお参りされる。</p>		

2の25	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	観音寺・不動明王 かんのんじ ふ だうみょうおう	
解説	<p>不動さんは『清め不動さん』と言い、旧観音寺というお寺の入口にある。不動明王は、背後に炎を負い、怒った顔で悪をこらしめる激しい気性の仏様だが、同時に、人の悩み事を聞き入れてくれるやさしい仏様でもある。</p>		

2の26	ジャンル	杉原谷の歴史・寺院・仏閣等	
	名称	観音寺・大歳神社 <small>かんのんじ おおとしじんじや</small>	
解説	<p>樺坂鉦山を経営していた生野の人たちが、鉦山の守り神として石舟にお祀りしたと伝えられている。</p>		

2の27	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	鳥羽・青玉神社 夫婦杉 <small>とりま あおたまじんじや めおとすぎ</small>	
解説	<p>昭和43年(1968年)、青玉神社の群生大杉7本は県指定の天然記念物となった。樹齢千年ともいわれるこれらの杉のうち、最も巨大な杉は、地上8mの幹の途中から2つに分かれて天に伸びており、夫婦円満と縁結びのご利益が信じられている。</p>		

2の28	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	乳の木(鳥羽 青玉神社の銀杏の大木) <small>ちちき とりま あおたまじんじや いちよう たいぼく</small>	
解説	<p>樹齢千年程度になる銀杏の太い枝のいたるところに、大きな乳房に似た変形枝ができています。乳の出があまりよくない母親や乳房にかかる悩みがある人は、お参りすると効果があるといわれています。</p>		

2の29	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	丹治・天狗の足跡 <small>たんじ てんぐ あしあと</small>	
解説	<p>丹治には天狗が飛行したという伝説があり、集落東側の山の中に天狗の足跡と呼ばれている大きな岩がある。この岩の上面は凹凸になっていて、天狗の足跡を思わせる。また、山伏が横行したという言い伝えもある。</p>		

2の30	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡
	名称	みだちちようだ こふんぐん 三谷丁田古墳群
解説	6世紀から7世紀ころの古墳。東南向きの山麓で4基以上の円墳がある。そのうちの一基の通路入口付近で、6世紀後半に属するとみられる須恵器の坏片が採集されている。	

2の31	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡
	名称	みだに かのんさま ほこら 三谷・観音様の祠
解説	いま ひやくすうじゆうねんまえ むかし ぶんせい しょうがつ 今から、百数十年前の昔、文政10年(1827年)の正月、この集落の庄屋・宇高光信は夜中に不思議な夢を見て観音菩薩のお告げを受けた。お告げによると「光信よ、私をすみやかに東の山の高いところにねんごろに安置すべし。災厄逃散、五穀豊穰など不思議なご利益がある」と。光信は大変驚いて仰ぎ見れば、遠く大見坂の山上から天空に観世音菩薩三十三体が現れ、天上から降りてくる姿を見た。感激した光信は、観音様の祠を祀る大事業を考えた。当時、この集落は度重なる災害に見舞われて米の不作が続き、その上疫病の流行などで、人々は大変貧しい暮らしをしていた。光信が中心になって村人とともに寄附を集めにまわり、大事業を成し遂げた。その後、村は災害を受けることも少なく、無事に年月が流れたといわれている。	

2の32	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡
	名称	はせがい ほうきよういん とう 箸荷・宝篋印塔
解説	せきとう ほうきよういん だら にきょう おき とう た じき この石塔は、宝篋印陀羅尼経を納めた塔で、建てられた時期は、文和3年(1354年)南北朝後期といわれている。	

2の33	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	かどむら こうきょ 門村構居	
解説	<p>かどむら しゅうらく にしがわさんろくぶ ぜんちよう およ ど りい きず 門村の集落の西側山麓部に全長300mに及ぶ土塁が築 かれていて、古くには字カマヘ坪の一角を囲むように形 どっていたと考えられている。天正2年(1574年)に落城し たと伝えられるすぎはらひょうだゆうやすひさ きよかん す 宅)跡ともいわれている。</p>		

2の34	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	かどむら ちゆうせいふん ぼ 門村中世墳墓	
解説	<p>せいきこうはん のもので、 やますそ ゆる しゃめん かいだん 13世紀後半のもので、山裾の緩やかな斜面を階段のよう に整地し、配置した4基の火葬墳墓群。いずれも浅い鉢状 に土を掘って埋納されており、うち2基は蔵骨器として、鍋・ 羽窯を用い、ほかの2基は須恵甕・古丹波の壺が蔵骨器と して使用されている。</p>		

2の35	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	すぎはらひょうだ ゆうやすひさ ひ 杉原兵太夫安久の碑	
解説	<p>すぎはらひょうだゆうやすひさ むらまちじだい すぎはらだに むら しはい 杉原兵太夫安久は、室町時代に杉原谷の村を支配してい た土豪。しかし、天正2年(1574年)1月15日、別所重棟 が、箆荷大見坂より門村城を攻め落とし、安久は割腹した と伝えられている。この碑は、その霊を慰めるために建てら れた。</p>		

2の36	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	おく とよ べ こふんぐん 奥豊部古墳群	
解説	<p>せいき せいきころ こふんぐん ひがしむき さんろくぶ き 6世紀から7世紀頃の古墳群。東向きの山麓部に14基～ 15基の横穴式石室墳がある。平成9年に1号墳の発掘調 査が行われ、ぜんちよう 12.4m×10.4mの古墳の周りをとり まく外護列石といわれるせきれつ や、ぜんちよう 9.4mの長い横穴式 石室が発見された。</p>		

2の 37	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	かばさかこうざんあと 樺坂鉦山跡	
解説	<p>かばさかこうざん みょうけんさん ろく こうざんぐん かばさか 樺坂鉦山は妙見山麓にたくさんある鉦山群の一つで、樺坂 のみに存在するカドミウム鉦である。鉦脈は1400mと非常 くに長く、これに伴い坑道も非常に長く、伝えられるところに よると最下底は杉原川の水準にまで達しているらしい。冬 は暖かく、夏は涼しい風が吹き上がってきている。</p>		

2の 38	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	かんのんじ さくら 観音寺桜ロード	
解説	<p>しょうわ ねん ごろ こうざんせき なに どて はなみ 昭和34年(1959年)頃、鉦山石で何もない土手に、花見が できるようにとの思いから、ソメイシノ約100本が集落の 住民の手で植えられた。今ではその見事な咲きぶりが、訪 れる人の心を和ませてくれる。</p>		

2の 39	ジャンル	杉原谷の歴史・史跡・遺跡	
	名称	かんのんじ しぞう 観音寺・首なし地蔵	
解説	<p>へいせい ねん りんどう かいつう む はつくつちよ 平成9年(1997年)、ふるさと林道の開通に向けて発掘調 査があり、現在の場所より少し上に石垣で囲まれた場所に あった。発見されたときから首がなく、出土した土器から考 えると、江戸時代の終わり頃までは鉦山関係者がお参りさ れていたようである。</p>		

3の1	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	やまよりかみ せいど 山寄上 さつまいもオーナー制度	
解説	むらづくり事業で、毎年8月末に芋掘りイベントを行う。品種「紅あずま」のさつまいもは大変おいしい。		

3の2	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	やまよりかみ あき ひきやまじゆんこう 山寄上 秋まつり(曳山巡行)	
解説	五穀豊穡の祈願、感謝の気持ちをこめて秋に行われる。何百年も続いているまつりであり、曳山の中の飾りがポイント。この中にはめでたい内容のものや、元気に子どもが育ってくれる願いから、鯉の滝登り、宝船、五穀豊穡、高砂、鶴亀などがある。まつり当日は、煮しめや漬け物とお神酒による神事のあと、曳山おどりを踊りながら村中を練り歩き、五穀豊穡を祈る。山寄上では、男子(跡継ぎ)ができなかった時、「氏神さん(青玉神社)にお願いしては。」ということで曳山をつくり、造り物をして献上したところ、それから男子が生まれるようになったという言い伝えがある。		

3の3	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	とりま ゆ た 鳥羽 湯立てまつり	
解説	鳥羽の青玉神社で、7月の第2週に行われる。巫女が振りまく湯にかかると、病気にかからず元気で過ごせるといわれている。		

3の4	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	きよみず 清水 ホタルまつり	
解説	平成5年(1993年)頃から毎年6月下旬に行っている。ホタルを見ながらのウォークラリーなどが楽しめる。		

3の5	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	きよみず おくやま じ ぞう 清水 奥山地蔵のまつり	
解説	清水の ^{にしがわ} 西側、山の奥 ^{おくぶか} 深いところにあり、いぼ ^{やく} 薬師が ^{まつ} 祭られている。毎年、お盆 ^{まいとし} 過ぎに行われるまつり。		

3の6	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	きよみず さん こ かい え ま 清水 三顧会の絵馬づくり	
解説	きよみずにしのみやじんじや ^{ねんまつ} ねんし ^{かざ} かざ ^{きよだい} えま 清水西宮神社に年末年始に飾られる巨大絵馬。1995年 ころ ^{しょうぼうだんいん} 消防団員の ^{つく} OBで作る「三顧会」のメンバーが作っ ている。		

3の7	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	きよみず 清水 えびすまつり	
解説	1月の10日頃、 ^{ごろ} 清水西宮神社 ^{きよみずにしのみやじんじや} で行われるまつり。		

3の8	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	とどろき ^{かわすそ} 轟 川裾まつり	
解説	7月下旬頃、 ^{げじゆんごろ} 轟の川裾神社 ^{とどろき かわすそじんじや} で開かれる。子ども達 ^{ひら} が ^{たち} 絵を ^{えが} 描いた ^{とうろう} 灯籠を川へと流す ^{なが} 灯籠流し ^{なが} が行われ、 ^{おこな} 幻想的な景 色 ^き が ^{ひろ} 広がる。お当番 ^{とうばん} さんによって ^{みやさんばし} 宮参橋 ^{でんき} に ^{ちようちん} 電気の提灯が ^{かざ} 飾られ、古代から座った ^{すわ} 祭壇 ^{さいだん} の大岩 ^{おおいわ} の上に御神体 ^{ごしんたい} を ^{まつ} 祀る。 「かわっさはん」と呼ばれ、川裾まつりに ^{まい} お参りすると、 ^{なつまけ} 夏負 け ^{すいがい} しないと ^{ふせ} か水害 ^{すいがい} を防いでくれると ^{ふせ} かいわれている。		

3の9	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	とどろき ^{こくぞうどう} ^{じゆずく} 轟 虚空蔵堂の数珠繰り	
解説	ねんぶつ ^{とな} 念仏を ^{さんかしゃ} 唱えながら参加者が ^わ 輪 ^{じゆずく} になって数珠を100回繰る。 ^{とちゆう} 途中50回で一休み。お玉 ^{だま} と呼ばれる ^よ 団子 ^{だんご} を三角 ^{さんかく} に積み上 げたものを ^{まつ} 祀る。		

3の10	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	にしやま なつ 西山 夏まつり	
解説	まいとし ぼんす ごろ どようび しゅうらく こうかいどう 毎年8月のお盆過ぎ(20日頃)の土曜日に、集落の公会堂 ひら ぼんおど で開かれる盆踊り。		

3の11	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	いちばら こうこう 市原 孝行れんげまつり	
解説	まいとし こうかいどう おこな とし こうこう 毎年5月4日に公会堂で行われる。その年の孝行のメッ さージのおうぼさくひん こうかいどうない てんじ セージの応募作品が公会堂内に展示される。		

3の12	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	いちばら こうこう 市原 ちょっとてれくさい孝行のメッセージ	
解説	へいせい こうこう はっしん きち もりやす せいたん 平成7年、『孝行』の発信基地として『森安こはる』生誕100 ねん とし こうえん せいび おこな 年の年に、『こはる公園の整備』と『孝行まつり』を行った。 こうじょ もりやす いつわ よくとし へいせい 孝女「森安こはる」さんの逸話にちなむ。翌年、平成8年か ら「ちょっと照れくさい孝行のメッセージ」の全国公募を始め た。のちに、主婦の友社から本にして出版された。 しゅふ ともしや ほん しゅつばん		

3の13	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	いちばら あき りんぼたいこう むらしばい 市原 秋まつり 隣保対抗村芝居	
解説	りんぼたいこう むらしばい まいとしおこな くまのじんじゃ よいみや 隣保対抗の村芝居を毎年行う。熊野神社まつりの宵宮を もあ きかく しゅうらく かんばんぎょうじ 盛り上げようと企画されたもので、集落の看板行事の一 つ。		

3の14	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	たんじ なつ 丹治 夏まつり	
解説	まいとし じょうじゆん しゅうらく こうかいどう ひら ぼんおど 毎年8月上旬に集落の公会堂で開かれる盆踊り。		

3の 15	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	丹治 文珠まつり たんじ もんじゆ	
解説	<p>毎年1月20日頃(1月第3～4週頃)に開かれる。智恵の文殊堂として、受験生が合格祈願のためお参りに訪れる。住職が籠に乗ってお堂を訪れ、法要が行われる。</p>		

3の 16	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	大袋 戒まつり おおぶくろ えびす	
解説	<p>1月10日頃に大袋の戒神社で開かれるまつり。消防団員が運営している。</p>		

3の 17	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	大袋 大神社の夏まつり おおぶくろ だいじんじや なつ	
解説	<p>大袋の大神社で開かれる夏まつり。大神社は”だいじゅんさん”という呼び名で地元の人に親しまれている。</p>		

3の 18	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	三谷 収穫祭 みだに しゅうかくさい	
解説	<p>毎年11月23日頃に行われる。以前は、自然薯栽培の有志のグループが自然薯を栽培していた。元々は、干ヶ峰の麓で穫れる自然薯が近隣の名物として珍重されていた。</p>		

3の 19	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	三谷集落 友好協定	
解説	<p>兵庫県下には「三谷」の地名が6箇所ある。(当時の名称で①香住町三谷②浜坂町三谷③八鹿町三谷④養父町三谷⑤山崎町三谷⑥加美町三谷)。平成4年に、むらづくりの1環として当時の山崎町三谷と養父町三谷を、翌5年に八鹿町三谷、浜坂町三谷を訪ね、集落自治について意見交換を行った。これをきっかけに、農林業公園の開園式に、これらの代表者を招待、友好協定を結んだ。三谷の地名と農山村であるという共通点を持つ各集落は、抱える課題も似ており、村づくりの良きパートナーとして交流を深めている。</p>		

3の 20	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	箸荷 むら芝居	
解説	<p>秋まつりに青年団員が役者になって、大歳神社境内の特設舞台上でむら芝居を演じていた。昭和50年代に入って青年団活動が衰退し、これとともにむら芝居も途絶えてしまう。平成5年(1993年)、これを消防団が復活させ受け継いでいる。</p>		

3の 21	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	箸荷 むら芝居保存会	
解説	<p>平成14年(2002年)3月、消防団員によって復活させた箸荷むら芝居(素人芝居)を末永く保存・継承していこうと『箸荷むら芝居保存会』が結成された。区長役員、老人クラブ、婦人会、消防団OBなど各種団体が加わり、集落住民が皆、力を合わせそれぞれの役割を担って『むら芝居の里』を行っていきこうと基盤づくりが始められた。</p>		

3の 22	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	はせが い やかた 箸荷 むらづくり館	
解説	<p>平成14年(2002年)7月、芝居舞台を備えた『箸荷むらづくり館』が完成。舞台20畳、客席60畳の大きさを持ち300人収容可能。同年10月、この館で『全国むら芝居サミット』を開き、全国各地から15劇団、北は山形、南は九州・大分まで総勢300人の観客が詰めかけた。</p>		

3の 23	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	はせが い ぜんこく しば い 箸荷 全国むら芝居サミット	
解説	<p>世帯数わずか58戸の箸荷集落から、全国に呼びかけ、素人劇団を一堂に集め箸荷でサミットを開催しよう!!と企画。平成14年(2002年)10月13日、記念すべき第1回国むら芝居サミットを盛大に開催。また、このサミット当日に、全国初の『むら芝居ネットワーク』も立ち上げ、その事務局を箸荷が受け持つことになり、以後、定期的に全国各地でむら芝居サミットを開催している。</p>		

3の 24	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	はせが い けいかん きょうてい 箸荷 景観むらづくり協定	
解説	<p>平成12年(2000年)12月1日 むらづくりや景観づくりの目指すべき方向性などを盛りこんだ『箸荷景観むらづくり協定』を兵庫県に提出。このとき、『兵庫県景観形成等に関する条例』に基づく住民協定は県下に例がなく、平成13年(2001年)2月、県知事から箸荷地区を第1号として認定書を受けた。この協定締結をきっかけにして、集落をあげて、みんなで景観むらづくりに取り組んでいる。</p>		

3の 25	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	はせが い もも て 箸荷 百々手まつり	
解説	<p>まいとし けんこくきねん おおとしじんじや 毎年2月11日の建国記念の日に、大歳神社で、その年の ごこほうじょう しぎょうはんえい ねが もも て おこな 五穀豊穰や諸業繁栄などを願う百々手まつりが行われる。 たまぐしほうのう しんじ おお ぐうじ どうにんたち て せい 玉串奉納、神事が終わると、宮司や当人達12人が手製の ゆみ や やく はな まと い まと ま なか おに か 弓と矢で約15m離れた的を射る。的の真ん中には鬼と書 かれ、その上を すみ ぬ しほう あくま ゆみや お かき、その上を墨で塗りつぶし、四方の悪魔を弓矢で追い ばら や いえ かざ ふく さず けいだい 払う。矢を家に飾っておけば福が授かるとあって、境内に あつ むらびとたち きそ と あ のち けいだい もち 集まった村人達は競って取り合う。この後、境内で餅まき が行われ一層盛り上がる。</p>		

3の 26	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	はせが い かわすそ 箸荷 川裾まつり	
解説	<p>かわすそじんじや 川裾神社は『かわっさはん』と呼ばれ、昔どこからか、この 神様が流れてきて、ここで水害が止まったと言われる。そこ で、小さな祠を立てて、水で身を洗い清めてお祀りをした。 川裾まつりにお参りすると、夏負けしないとか、水害を防い でくれるとか言われている。</p>		

3の 27	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	はせが い あたご じんじや ひ 箸荷 愛宕神社 火まつり	
解説	<p>別名、愛宕まつり。愛宕まつりとは、火の神、火の災難除 けの神として名高い京都・愛宕神社の信仰に基づくもの かみ なだか きょうと あたごじんじや しんこう もと で、数多くの松明に火をつけて神を慰め、火災から免れよ かずおお たいまつ かみ なぐさ かさい まぬが うとするまつり。 まいとし だい にちようび おこな 毎年、8月第4日曜日に行われる。</p>		

3の 28	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	かどむら やくじん 門村 厄神さん	
解説	かどむら やくじんさい かどむら いつくしまじんじゃ まつ はちまん 門村厄神祭。門村巖島神社に祀られている八幡さんのお まつり。毎年、1月の第2～3週あたりに行われている。厄 まいとし たい しゅう おこなあ やく 年の人を中心に参拝者が訪れる。 とし ちゅうしん さん ばいしや おとず		

3の 29	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	かどむら 門村 れんげまつり	
解説	まいとし おこな りん ぼ たい こう はこ めい 毎年5月3日に行われる。隣保対抗のマメ運びりレーは名 ぶつぎょうじ かくしゅ む ぼし はこ じゅんい きそ 物行事。各種のマメを塗り箸で運び順位を競う。 ぶつぎょうじ かくしゅ む ぼし はこ じゅんい きそ		

3の 30	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	かどむら 門村 とんど	
解説	かくかてい かざ しょうがつかざ も のこ 各家庭で飾ったお正月飾りなどを燃やして、残りの火でお もち や た たうじつ しょうぼうだん かい ふじんかい 餅を焼いて食べる。当日は、消防団・子ども会・婦人会など かくしゅだんたい た だ しゅうらくじゅうみん あつ しゅうらく 各種団体からの炊き出しがあり、集落住民が集まる。集落 をあげてのむらづくり事業の一つとして行われている。 じぎょう おこな		

3の 31	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	でん どうぶんか けいしょうじぎょう かぐら ふっかつ かどむら 伝統文化継承事業『神楽の復活』(門村)	
解説	かどむら う つ かぐら やく まえ いちどふっかつ 門村で受け継がれてきた神楽は、約20年前に一度復活さ せたが、こうけいしゃぶそくなど きゅうし へいせい 後継者不足等で休止したままとなっていた。平成 ねんど さいどふっかつ かぐら こうじんはら しゅうらくないぜんこ 18年度に再度復活させ、神楽(荒神祓い)を、集落内全戸 で舞うようになった。 ま		

3の 32	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	すぎはら むら い いんかい 杉原 村おこし委員会	
解説	<p>へいせい ねん しんけん ち いき かんが 平成5年(1993年)、真剣にこれからの地域づくりを考えよう と、各種団体の長を中心に十数人の委員から組織された。 さいしょ すいしん わ き 最初のむらづくり推進スローガンを『和』と決め、みんなが いっしょ あせ わ すず しゅうらく びか 一緒になって汗をかき人の和づくりを進めようと、集落の美 かつどう まつ つう すず 化活動・祭りを通じて進めている。</p>		

3の 33	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	おく とよ べ えいたいきょう く よう 奥豊部 永代経 供養	
解説	<p>まいとし じょうしょうじ おこな もち くし 毎年3月と8月に浄照寺で行われている。小さな餅を串に さ かざ つ もちばな さいだん そな 刺し、飾り付けられた餅花が祭壇に供えられる。</p>		

3の 34	ジャンル	杉原谷のくらし・各集落の年中行事	
	名称	かんのん じ さくらまつり 観音寺 さくらまつり	
解説	<p>はじ おこな しゅうらくこうりゅうぎょうじ か そう たいかい 4月初めに行われる集落交流行事。仮装カラオケ大会など かんのんじ いえ かんのもんじ 観音寺の人たちのほか、木の家プロジェクトとして観音寺と こうりゅう こうべだいがく がくせい さんか 交流している神戸大学の学生が参加している。</p>		

3の 35	ジャンル	杉原谷のくらし・公園	
	名称	やまよりかみ しも じま こう えん 山寄上 下島さくら公園	
解説	<p>や え ざくら やまよりかみ い ぐち こうえん 八重桜のきれいなところ。山寄上の入り口にある公園。</p>		

3の 36	ジャンル	杉原谷のくらし・公園	
	名称	たん じ さくらこう えん 丹治 桜公園	
解説	<p>ちく ろうじんかいいん ざくら う 地区老人会員によりソメイヨシノ(桜)が1000本植えられ ている。</p>		

3の 37	ジャンル	杉原谷のくらし・公園	
	名称	おおぶくろ し き もり こうえん 大袋 四季の森公園	
解説	<p>おおぶくろ きた はし すぎはらがわ めん ぼしよ 大袋の北の端、杉原川に面した場所 キなどが植わった林に遊歩道や東屋が整備されている。 なつ あきにはカブトムシ取りやドングリ拾いに行く子どもの姿 が見られる。</p>		

3の 38	ジャンル	杉原谷のくらし・公園	
	名称	いちハラ こうえん 市原 こはる公園	
解説	<p>へいせい ねん こうこう はつ しん きち こうえん もりやす 平成7年(1995年)「孝行」の発信基地として「森安こはる」 せいたん 100年の年に「こはる公園」の整備をした。</p>		

3の 39	ジャンル	杉原谷のくらし・公園	
	名称	いちハラ こうこう 市原 孝行ロード	
解説	<p>へいせい ねん ひのもとのうどう こうこう はば なが 平成12年(2000年)、桧ノ本農道『孝行ロード』(幅4m, 長 さ550m)を整備し、孝行メッセージの碑10基が建てられ ている。</p>		

3の 40	ジャンル	杉原谷のくらし・公園	
	名称	かんのんじ そうごう うんどう こう えん さと 観音寺 総合運動公園～ホテルの里	
解説	<p>そうごううんどうこうえん さと しよじゆん げ じゆん 総合運動公園～ホテルの里～ 6月初旬から7月下旬にか けて、初夏の風物詩、美しい情緒あふれるホテルの温かな らん ぶ み 秋まつりには、公園では、集落住民でミ ニ運動会が行われる。また、ふだんの日には老人会が ゲートボール、子ども達はサッカーなどをして楽しく遊んで いる。</p>		

3の 45	ジャンル	杉原谷のくらし・公共施設等	
	名称	ジェラテリア ふれっしゅあぐり館 ^{かん}	
解説	<p>たかちょうない ゆた 豊かな し ぜん はぐく 自然に ほう ふ のうちくさんぶつ 生まれた豊富な農畜産物、ハー モニーパークでしゅうかく 収穫された し き おりおり くだもの つか てづく 四季折々の果物を使った手作り アイスクリームが食べられる。</p>		

3の 46	ジャンル	杉原谷のくらし・公共施設等	
	名称	ハーモニーパーク	
解説	<p>せんがみね のふもとに かじゅえん 果樹園、レストラン、しゆくはく し せつ もっこうきょうしつ 宿泊施設、木工教室 などいろいろな せつび そな 設備を備えている。果樹園では、りんご・な し・さくらんぼ・くり 栗などを さいばい 栽培している。</p>		

3の 47	ジャンル	杉原谷のくらし・公共施設等	
	名称	かみ ^{そうごう ふくし} 総合福祉センター	
解説	<p>すぎはらだにしょうがっこう にしがわ 杉原谷小学校の西側にあり、おとしよ 年寄りのデイサービスなど ち いまじゅうみん ふくしこうじょう 地域住民の福祉向上のために つく 作られた し せつ 施設。</p>		

4の1	ジャンル	集落名の由来	
	名称	山寄上 <small>やまよりかみ</small>	
解説	<p>三国岳<small>みくにだけ</small>のふもと、杉原川<small>すぎはらがわ</small>の最も上流<small>もっと じょうりゆう</small>にある村<small>むら</small>。山<small>やま</small>に近接<small>きんせつ</small>した川上<small>かわかみ</small>の地<small>ち</small>であることから、山寄上<small>やまよりかみ</small>という名<small>な</small>になった。</p>		

4の2	ジャンル	集落名の由来	
	名称	鳥羽 <small>とりま</small>	
解説	<p>青玉神社<small>あおたまじんじや</small>の祭場<small>さいじょう</small>が「とりば」となり、鳥羽<small>とりま</small>の文字<small>もじ</small>が当てられ、て「とりま」と呼<small>よ</small>ばれるようになった。</p>		

4の3	ジャンル	集落名の由来	
	名称	清水 <small>きよみず</small>	
解説	<p>杉原川<small>すぎはらがわ</small>の流れ<small>なが</small>が清<small>きよ</small>らかであることから、清水<small>きよみず</small>と呼<small>よ</small>ばれるようになった。</p>		

4の4	ジャンル	集落名の由来	
	名称	轟 <small>とどろき</small>	
解説	<p>真谷山<small>まだにやま</small>の深谷<small>ふかだに</small>に滝<small>たき</small>があり、豪雨<small>ごうう</small>になると滝音<small>たきおと</small>がとどろくことから『轟<small>とどろき</small>』と言<small>い</small>われるようになった。</p>		

4の5	ジャンル	集落名の由来	
	名称	山口 <small>やまぐち</small>	
解説	<p>大井戸山<small>おおいどやま</small>の登山口<small>とざんぐち</small>であることから『山口<small>やまぐち</small>』と言<small>い</small>われている。</p>		

4の6	ジャンル	集落名の由来	
	名称	西山 <small>にしやま</small>	
解説	<p>杉原川<small>すぎはら</small>右岸<small>がわう</small>(西側<small>がんにしがわ</small>)の山裾<small>やますそ</small>に人家<small>じんか</small>が集<small>あつ</small>まっていたこと<small>ゆらい</small>に由来する。「にしやま」とも呼<small>よ</small>ばれている。</p>		

4の7	ジャンル	集落名の由来	
	名称	いちはら 市原	
解説	<p>この土地は、^{とち}丹治坂、^{いちはらざか}市原坂の^{さかみち}坂道と、^{なんぼく}南北に^{すぎはらだに}杉原谷を縦貫する^{うかん}杉原街道の^{かいどう}交差点に位置し、^{ちゅうさいまつき}中世末期には『市原千軒』とうたわれた^{せんけん}鉱業地で、^{こうぎょうち}播磨、^{はりま}丹波、^{たんば}但馬の^{たじま}商人が各地の^{かくち}特産品を持ち寄り『市』が^い立ったことから、『市場』といわれ、後に『市原』と呼ばれるようになったと言われている。</p>		

4の8	ジャンル	集落名の由来	
	名称	たんじ 丹治	
解説	<p>^{ささ}篠ヶ峰^{がみね}東麓・^ひ氷上町^{かみちようみ}三原にある^{うち}内尾神社の^{おじん}祭神を、^{さいじん}古来^{こらい}丹治^{たんじ}大明神と呼ぶが、これは^{いづみのくに}和泉国の^{こうぶつし}鉱物師であった^{たん}丹治氏がこの土地に^{とち}往来したことによるものと言われている。</p>		

4の9	ジャンル	集落名の由来	
	名称	おおぶくろ 大袋	
解説	<p>^{みだに}三谷からこの土地の^{とち}標高差^{ひょうこうさ}200mの^{きゅうりょう}丘陵を見た^み眺めが^{なが}袋^{ぶくろ}を背負っているようであったことから、はじめは「負い袋」と呼ばれていたが、のちに「大袋」の字が^{おおぶくろ}当てられたと言われている。「おいぶくろ」ともいう。</p>		

4の10	ジャンル	集落名の由来	
	名称	みだに 三谷	
解説	<p>^{しゆう}雌雄の^{たき}滝をもつ^{みだに}三谷^{けいこく}溪谷が、^{ふか}深く^{せんがみね}千ヶ峰に^{せま}迫り、^{まきた}真北には^{すぎ}杉・^{ひのき}檜に^{おお}覆われた^{おおたに}大谷があり「^{みだに}三谷の^{みだに}三谷に^{みちまよ}道迷い」との古謡があった。</p>		

4の11	ジャンル	集落名の由来	
	名称	はせがい 箸荷	
解説	<p>けいちようけんちちよう すぎはらだに は せかいむら しる 慶長検地帳では「杉原谷長谷貝村」と記されている。「風土 記」に、あか しぐん おおみのさと おうみのおみ し そん は せがべし おう 記」に、明石郡大海里から淡海臣の子孫、長谷部氏が往 来し、これが「はせがい」になまったと言われている。</p>		

4の12	ジャンル	集落名の由来	
	名称	かどむら 門村	
解説	<p>じようごじ もんぜん 浄居寺の門前にあることから『門村』と言われている。</p>		

4の13	ジャンル	集落名の由来	
	名称	すぎはら 杉原	
解説	<p>ふる 古くから、すぎはらがみ とくさん ち ゆうめい しょうえんねんぐ かみ 古くから、杉原紙の特産地として有名で、莊園年貢も紙が ちゆうしん 中心だったと言われている。</p>		

4の14	ジャンル	集落名の由来	
	名称	おくとよべ 奥豊部	
解説	<p>ふめい はっきりしたことは不明だが、このちいき いったい たはた ゆた 地域一帯の田畑が豊か であったことからゆらい 由来しているという説がある。</p>		

4の15	ジャンル	集落名の由来	
	名称	かんのんじ 観音寺	
解説	<p>はいご やま ちゆうふく ほうどう せんじん ひら つた しんごん 背後の山の中腹に、法道仙人が開いたと伝えられる真言 しゆうにっとうさんかんのんじ 宗日東山観音寺があるため、このように呼ばれている。</p>		

5の1	ジャンル	方言・あ	
	名称	あずって	
解説	苦労して【用例】むかしは、あずってあずって炭つくつとつたなあ。		

5の2	ジャンル	方言・あ	
	名称	あだける	
解説	落ちる【用例】よそ見しよつたら、石垣からあだけてしもた。(よそ見をしていたら、石垣から落ちてしまった。)		

5の3	ジャンル	方言・あ	
	名称	あたしつとい	
解説	しんどい【用例】あたしつといこと、せんとき。		

5の4	ジャンル	方言・あ	
	名称	あてこすり	
解説	皮肉【用例】それは、わたしへのあてこすりか？		

5の5	ジャンル	方言・あ	
	名称	あとんじより	
解説	後ずさり【用例】あとんじよりして逃げる。(後ずさりして逃げる)		

5の6	ジャンル	方言・あ	
	名称	あらへん	
解説	ない【用例】算数の教科書があらへんけど、しらんか？		

5の7	ジャンル	方言・あ	
	名称	あんじょう	
解説	具合よく・首尾よく【用例】ちょっと留守にするけど、あんじょうきばってやあ。		

5の8	ジャンル	方言・い	
	名称	いかへんだ	
解説	いきませんでした【用例】「きのう、会議 ^{かいぎ} にいったか？」「用 ^{よう} 事 ^じ があつて、いかへんだ」		

5の9	ジャンル	方言・い	
	名称	いがむ	
解説	ゆが ^{ゆが} 歪 ^ひ む【用例】線 ^{せん} を引きよつたら、いがんでもた。		

5の10	ジャンル	方言・い	
	名称	いかめい	
解説	うらやましい【用例】まあ、あの人の ^{ひと} とこ、ひとつも稲 ^{いね} がこけんと、いかめいわあ。		

5の11	ジャンル	方言・い	
	名称	いきやたり	
解説	つ ^つ 突 ^あ き ^あ 当 ^{たり} たり 【用例】郵便局 ^{ゆうびんきょく} の角 ^{かど} 、左 ^{ひだり} へまわつてもろたら、いきやたりが〇〇はんのおうちです。		

5の12	ジャンル	方言・い	
	名称	いっけ	
解説	しんせき ^{しんせき} 親 ^{しん} 戚 ^{せき} 【用例】うちとあんた ^あ とこは、いっけやな。		

5の13	ジャンル	方言・い	
	名称	いっさんこ	
解説	かわよしのぼり【用例】		

5の14	ジャンル	方言・い	
	名称	いぬ	
解説	^{かえ} 帰る、 ^さ 去る【用例】ほな、もう遅 ^{おそ} うなったし、そろそろいぬわ。(では、もう遅 ^{おそ} くなったことだし、そろそろ ^{かえ} 帰ります。)		

5の15	ジャンル	方言・い	
	名称	いのく	
解説	^{うご} 動く【用例】♪いのきはじめてた ^{きしゃ} 汽車に、一人 ^{ひとり} 跳 ^と び乗 ^の った～(ちあきなおみ)		

5の16	ジャンル	方言・い	
	名称	いまさつき	
解説	^{さき} つい先ほど。「いんまさつき」とも ^い 言う。【用例】いまさつき、 ^{でんわ} 電話かかってきたで。		

5の17	ジャンル	方言・い	
	名称	いんがり	
解説	^{ていねい} 丁寧【用例】まあ、いんがりしたもん、こしらえとってやないかいね。		

5の18	ジャンル	方言・い	
	名称	いんま	
解説	^{いま} 今【用例】いんまさつき、お客 ^{きやく} さんがかえっちゃったところだっせ。		

5の19	ジャンル	方言・え	
	名称	えげつない	
解説	^{ひきょうなっどく} 卑怯・納得いかない【用例】あいつら、えげつないことすんなあ。		

5の20	ジャンル	方言・お	
	名称	おいやか	
解説	おだやか。のんびり。ゆっくり 【用例】まあこの ^{へん} 辺は、おいやかなとこやなあ。あいつは、おいやかなやっちゃなあ。		

5の21	ジャンル	方言・お	
	名称	おうじょうする	
解説	^{こま} 困る 【用例】 ^{くるま} 車が ^{みぞ} 溝にはまって、おうじょうしましたがいな。		

5の22	ジャンル	方言・お	
	名称	おうねん	
解説	^{おとな} 大人びた 【用例】この ^こ 子、おうねんな ^{かお} 顔しとってやなあ。		

5の23	ジャンル	方言・お	
	名称	おしまいな	
解説	^{ゆうがた} 夕方 ^た のあいさつ 【用例】もう、 ^{くら} 暗くなってきたから、はよ、おしまいな。		

5の24	ジャンル	方言・お	
	名称	おせへん	
解説	^{おし} 教え ^{ない} ない 【用例】		

5の25	ジャンル	方言・お	
	名称	おっちんする	
解説	^{せいざ} 正座 ^{する} する 【用例】そのふとんの上へ、おっちんしてみ。		

5の26	ジャンル	方言・お
	名称	おってですか
解説	おられますか 【用例】こんにちは。〇〇さん、おってですか？	

5の27	ジャンル	方言・お
	名称	おてしょう
解説	小皿 <small>こざら</small> 、取り皿 <small>とざら</small> 【用例】ちょっと、そこのおてしょう <small>と</small> 取って。	

5の28	ジャンル	方言・お
	名称	おまはん
解説	あなた 【用例】おまはんは、どない <small>おも</small> 思てや？	

5の29	ジャンル	方言・お
	名称	おらへん
解説	いません 【用例】仕事 <small>しごと</small> に行 <small>い</small> って、誰 <small>だれ</small> もおらへん。	

5の30	ジャンル	方言・か
	名称	かえら(かえだ)
解説	カメムシ 【用例】今年 <small>ことし</small> は、かえら <small>おお</small> が多 <small>おお</small> そうやなあ。(今年 <small>ことし</small> はカメムシ <small>おお</small> が多 <small>おお</small> くなりそうですね。)	

5の31	ジャンル	方言・か
	名称	かく
解説	持 <small>も</small> つ、かつぐ、運 <small>はこ</small> ぶ【用例】ちょっと、かいてくれ <small>か</small> か？ ええ！？ どこ <small>せなか</small> かくの、背 <small>せなか</small> 中？ ちがうちがう、この机 <small>つくえ</small> を運 <small>はこ</small> ぶの。	

5の32	ジャンル	方言・か	
	名称	かだ	
解説	かお 香り、におい 【用例】なんや、このかだは？		

5の33	ジャンル	方言・か	
	名称	かたくま	
解説	かたぐるま 肩車 【用例】蛍光灯を取り替えるから、ちょっとかたくましてくれるか。		

5の34	ジャンル	方言・か	
	名称	かたら	
解説	からだ 体 【用例】かたらじゅう、かいいてしゃあない。(体中がか しかた ゆくて仕方がない。)		

5の35	ジャンル	方言・か	
	名称	かつける	
解説	ぶつける。あ 当てる。【用例】こら、おまえ、ええ加減にせんと、石かつけるど。(ちょっと、あなた、いい加減になさいませんと、石を当てますよ。)		

5の36	ジャンル	方言・が	
	名称	～がん	
解説	ぶんにょう …の分量 【用例】おばちゃん、この餚100円がんおくれ。		

5の37	ジャンル	方言・が	
	名称	がいよー	
解説	くわ 詳しく、わかりやすく。ぐあいよく 【用例】その資料の概要ですが、もうちょっとがいようおし おし 教えてもらえませんか？		

5の38	ジャンル	方言・が	
	名称	かど、かだ	
解説	<small>いえ まえにわ げんかんまえ</small> 家の前庭・玄関前 【用例】ええかげんに、かどの <small>くさと</small> 草取りせなあかんわ。		

5の39	ジャンル	方言・き	
	名称	きしょくわるう	
解説	<small>き み</small> 気味がわるい 【用例】ああ～ <small>きしょく</small> 気色わるう・・・		

5の40	ジャンル	方言・き	
	名称	きばる	
解説	<small>あした た う はじ</small> がんばる 【用例】明日から田植えが始まるし、きばらんとなあ・・・		

5の41	ジャンル	方言・き	
	名称	きやーるい	
解説	<small>き ぶん わる</small> 気分が悪い、むかつく 【用例】「あた、きやーるい」チョー、ムカツク		

5の42	ジャンル	方言・き	
	名称	ぎよーさん	
解説	たくさん 【用例】もみじの <small>は</small> 葉っぱが、ぎよーさん <small>お</small> 落ちとるなあ。		

5の43	ジャンル	方言・き	
	名称	きよーび	
解説	<small>げんざい ちか</small> 現在、近ごろ 【用例】きよーび、そんな <small>ふる</small> 古いラジオ、 <small>み</small> 見たことないでー。		

5の44	ジャンル	方言・き	
	名称	きんと一な人	
解説	<small>きちょうめん</small> <small>ひと</small> 几帳面な人。 <small>ひと</small> かつちりしている人 【用例】あの人 <small>ひと</small> は、ほんまにきんと一な人 <small>ひと</small> やなあ。		

5の45	ジャンル	方言・き	
	名称	きんの一	
解説	<small>きのう</small> 昨日 【用例】きんの一 <small>ばん</small> の晩、ラーメン <small>た</small> 食べたでえ。		

5の46	ジャンル	方言・く	
	名称	くすべ	
解説	<small>ほのお</small> <small>た</small> <small>けむ</small> 炎を立てず煙らせながら燃 <small>も</small> やすこと。【用例】あの人 <small>ひと</small> 、いつも <small>いまじぶん</small> 今時分になったら、くすべしよってやなあ～		

5の47	ジャンル	方言・く	
	名称	くつな(くちな)	
解説	<small>へび</small> 蛇のこと 【用例】まあ一、ツバメ <small>す</small> の巣にくつな <small>す</small> がおったがいな。		

5の48	ジャンル	方言・く	
	名称	くべる	
解説	<small>ひ</small> <small>い</small> <small>も</small> 火に入れて燃やすこと。【用例】ちょっと、この紙 <small>かみ</small> もいっしょにくべとこか。		

5の49	ジャンル	方言・く	
	名称	くんなはれ	
解説	ください 【用例】つまらないものだけど、食 <small>た</small> べとくんなはれ。		

5の50	ジャンル	方言・け	
	名称	けったい	
解説	^{へん} 変な。 ^か 変わった。おかしな。 ^{きみよう} 奇妙な 【用例】けったいな人 ^{ひと} やなあ～		

5の51	ジャンル	方言・こ	
	名称	～こ	
解説	～ですか？ 【用例】「おい、何 ^{なん} ぞ酒 ^{さけ} のさかな無 ^な いんこ？」 「そんなもん、あるかいな。 ^{ゆび} 指でもねぶつとき」		

5の52	ジャンル	方言・こ	
	名称	～こったす	
解説	ことです 【用例】		

5の53	ジャンル	方言・こ	
	名称	こける	
解説	ころぶ 【用例】ろうか ^{はし} を走っていたら、こけたわ。		

5の54	ジャンル	方言・こ	
	名称	ここっちよい	
解説	^{きも} 気持ちがいい 【用例】		

5の55	ジャンル	方言・こ	
	名称	こそばい	
解説	かゆい・くすぐったい 【用例】孫 ^{まご} の手ありませんか？背 ^せ 中 ^{なか} がこそばいです。		

5の56	ジャンル	方言・こ	
	名称	こつきり	
解説	すつきり・全部【用例】ゴミを燃やしたら、こつきり燃えてしもたわ。		

5の57	ジャンル	方言・こ	
	名称	こってり	
解説	こじんまり。【用例】		

5の58	ジャンル	方言・こ	
	名称	こないだ	
解説	この間【用例】こないだ、大阪へ行ってきたで。		

5の59	ジャンル	方言・こ	
	名称	こぼる	
解説	耐える・がんばる・辛抱する【用例】泣きなつ、こぼりんかいな。これぐらいの傷で。死にやせんわ！（泣かないで、辛抱しなさい。これぐらいの傷では死ぬことはありません。）		

5の60	ジャンル	方言・こ	
	名称	こらえてな	
解説	ゆる許してね【用例】もう悪いことしやへんから、こらえてえな。		

5の61	ジャンル	方言・こ	
	名称	こんだ	
解説	今度【用例】こんだ、大阪へ遊びに行こか。		

5の62	ジャンル	方言・さ	
	名称	さけに	
解説	だから【用例】今、電話かけよるさけに、ちょっと待ってね。		

5の63	ジャンル	方言・さ
	名称	さら
解説	<small>しんぴん</small> 新品 【用例】この <small>ふでばこ</small> 筆箱、さらやで。	

5の64	ジャンル	方言・さ
	名称	さんこ
解説	<small>らんざつ</small> 乱雑になっている様子・ <small>ようす</small> 行儀が <small>わる</small> 悪いこと 【用例】まあ、 <small>へや</small> 部屋の中、さんこになつとるなあ。ちょっと、 <small>かた</small> 片づけたら。	

5の65	ジャンル	方言・さ
	名称	さんばらばん(さんぱらばん)
解説	ちらかっているようす、むちゃくちゃ 【用例】 <small>へや</small> 部屋の中、 <small>なか</small> こないに、さんばらばんにしてからに……。しゃあないやつちやなあ。	

5の66	ジャンル	方言・し
	名称	～しとむない(しともない)(しとみない)
解説	～するのがおっくうだ、 <small>めんどう</small> 面倒くさい、～したくない。【用例】 <small>さんすう</small> 算数の <small>しゅくだい</small> 宿題、しとむないなあ。	

5の67	ジャンル	方言・し
	名称	したら
解説	そうしたら 【用例】	

5の68	ジャンル	方言・し
	名称	しとってや
解説	しておられた 【用例】 <small>せんせい</small> 先生が <small>そうじ</small> 掃除しとってやで。	

5の69	ジャンル	方言・し	
	名称	しなはった	
解説	しておられた【用例】		

5の70	ジャンル	方言・し	
	名称	しまいごと	
解説	夕食 <small>ゆうしょく</small> のしたく【用例】さあ、ぼちぼち、しまいごとでしょうか。		

5の71	ジャンル	方言・し	
	名称	しゃあない	
解説	仕方 <small>しかた</small> がない【用例】雨が降 <small>あめ</small> って田圃 <small>たんぼ</small> がでけへん。しゃあないさかい、テレビでも見 <small>み</small> よ。		

5の72	ジャンル	方言・し	
	名称	しゃらへん	
解説	仕方 <small>しかた</small> がない【用例】まだお昼 <small>ひる</small> になってないのに、腹 <small>はら</small> が減 <small>へ</small> ってしゃらへんわ。		

5の73	ジャンル	方言・し	
	名称	しゆむ	
解説	しみる【用例】		

5の74	ジャンル	方言・し	
	名称	じょーさん	
解説	たくさん【用例】こんぴらはんに行ったら、夜店 <small>よみせ</small> がじょーさん出 <small>で</small> とった。		

5の75	ジャンル	方言・し	
	名称	じょん	
解説	たくさん【用例】「うー、さぶ。じょんでるなあ。」		

5の76	ジャンル	方言・じ	
	名称	じつきに	
解説	すぐに。「じきに」とも言う。【用例】そのけがやったら、じつきにお医者さん行かな。		

5の77	ジャンル	方言・じ	
	名称	じゅるい	
解説	ぬかるんでいる・やわらかい 【用例】昨日雨 ^{きのう あめ} やったで、グラウンドがじゅるいなあ。		

5の78	ジャンル	方言・せ	
	名称	せーへなんだ	
解説	しなかった 【用例】昨日 ^{きのう} は、宿題 ^{しゅくだい} せーへなんだら、先生 ^{せんせい} におこられた。		

5の79	ジャンル	方言・せ	
	名称	せける	
解説	いそ ^{いそ} 急ぐ 【用例】そんなにせけて、どこ、行 ^い っきよってん？		

5の80	ジャンル	方言・せ	
	名称	せやけど	
解説	だけれど 【用例】		

5の81	ジャンル	方言・せ	
	名称	せやさけに	
解説	だから 【用例】		

5の82	ジャンル	方言・せ	
	名称	せんぐり	
解説	つぎ つぎ 次から次へと。たびたび 【用例】せんぐり草刈りしよるけど、一周してきたら、また生えとる。		

5の83	ジャンル	方言・せ	
	名称	せんどぶり	
解説	ひさ 久しぶり 【用例】まあ、あんた、せんどぶりやなあ。		

5の84	ジャンル	方言・そ	
	名称	そーえ	
解説	そうですか 【用例】		

5の85	ジャンル	方言・そ	
	名称	そしたら	
解説	そうしたら 【用例】		

5の86	ジャンル	方言・そ	
	名称	それよか	
解説	それよりも 【用例】		

5の87	ジャンル	方言・そ	
	名称	そろっと	
解説	しんちよう 慎重に。ゆっくりと 【用例】子どもを起こさないように、そろっと寝間に入る。		

5の88	ジャンル	方言・だ	
	名称	だんない	
解説	かま 構わない 【用例】これ、一つもらっていい？ だんないで。		

5の89	ジャンル	方言・ち	
	名称	ちーとのま	
解説	<small>すこ</small> <small>ま</small> 少しの間 【用例】 <small>いま</small> <small>いそが</small> 今、忙しいから、ちーとのましてから <small>でんわ</small> 電話するわ。		

5の90	ジャンル	方言・ち	
	名称	ちやった	
解説	なさった(<small>そんけいご</small> 尊敬語) 【用例】 あっ、 <small>せんせい</small> 先生が来ちやったでえ。		

5の91	ジャンル	方言・つ	
	名称	つくなむ(つくねむ)	
解説	しゃがむ・すわる 【用例】 そこに、ちょっとつくなんでみ。		

5の92	ジャンル	方言・つ	
	名称	つんだかつんだか	
解説	いっぱいたまっている <small>ようす</small> 様子 【用例】 こないにつんだかつんだかにしとつたら、あかんやんか！		

5の93	ジャンル	方言・て	
	名称	てのこぼ	
解説	ぼたもち 【用例】		

5の94	ジャンル	方言・て	
	名称	てれこ	
解説	<small>い</small> <small>ちが</small> 入れ違い 【用例】 げた <small>ばこ</small> 箱のくつが、てれこになっとったわ。		

5の95	ジャンル	方言・で	
	名称	できらいでか	
解説	できますとも 【用例】 それくらいのこと、できらいでか。		

5の96	ジャンル	方言・ど	
	名称	てばる	
解説	てまどる【用例】		

5の97	ジャンル	方言・ど	
	名称	どーどこと	
解説	どうにかこうにか。何とかぎりぎりで【用例】どーどこと、間におおたあ～		

5の98	ジャンル	方言・ど	
	名称	どんくさい	
解説	要領 <small>ようりょう</small> が悪い。ちょっと間 <small>ま</small> 抜けな【用例】先生 <small>せんせい</small> に見つかったんか、どんくさい奴 <small>やつ</small> やなあ。		

5の99	ジャンル	方言・な	
	名称	なあたん(ながたん)	
解説	包丁 <small>ほうちよう</small> 【用例】ちょっと、その台所 <small>だいどころ</small> のながたん取 <small>と</small> ってえな。		

5の100	ジャンル	方言・な	
	名称	なしたまー	
解説	驚 <small>おどろ</small> いた。想定外 <small>そうていがい</small> の。あーびっくり【用例】なしたまー！あんたら、いつからそんな仲 <small>なか</small> やのん。		

5の101	ジャンル	方言・な	
	名称	なま	
解説	少 <small>すこ</small> し。控 <small>ひか</small> えめにする。中途半端 <small>ちゆうとはんぱ</small> にする。【用例】「あれ？なんでこないご飯余 <small>はんあま</small> っとんのん？」「ワシが朝 <small>あさ</small> なま食 <small>た</small> べたからや。昨日 <small>きのう</small> の寿司 <small>すし</small> の残り <small>のこ</small> 食 <small>た</small> べたさかいな」		

5の102	ジャンル	方言・に	
	名称	にやすい	
解説	かんたん 簡単だ、たやすい【用例】 <small>えいご</small> 英語の勉強 <small>べんきょう</small> は、にやすいよ。		

5の103	ジャンル	方言・ね	
	名称	ねっから	
解説	もとから【用例】		

5の104	ジャンル	方言・は	
	名称	はしかい	
解説	①すばしっこい。②イガイガする。【用例】 <small>いねかり</small> 稲刈したら、 <small>せなか</small> 背中がはしかいなあ。		

5の105	ジャンル	方言・は	
	名称	はつる	
解説	たたく、なぐる【用例】うわー、〇〇 <small>くん</small> 君にはつられた(泣)。 <small>せんせい</small> 先生に言うちやろ。		

5の106	ジャンル	方言・は	
	名称	はまころ	
解説	<small>しゃりん</small> 車輪【用例】 <small>じてんしゃ</small> 自転車のはまころに、ゴムがひっかかってし もた。		

5の107	ジャンル	方言・は	
	名称	はまる	
解説	<small>おちる</small> 落ちる【用例】 <small>ある</small> 歩いていたら、 <small>みぞ</small> 溝にはまってしもたわ。		

5の108	ジャンル	方言・は	
	名称	早ういの一	
解説	<small>はや</small> 早く <small>かえ</small> 帰ろう【用例】 <small>くら</small> 暗くなってきたから、 <small>はや</small> 早ういの一。		

5の109	ジャンル	方言・ひ	
	名称	ひーさん	
解説	なが あいだ 長い間 【用例】〇〇さん、ひーさん であ 出会ってないなあ。		

5の110	ジャンル	方言・ひ	
	名称	ひとりでに	
解説	しぜん 自然に。「ひとりがでに」とも言う 【用例】		

5の111	ジャンル	方言・ひ	
	名称	ひよとくる	
解説	おちよくる 【用例】		

5の112	ジャンル	方言・ぴ	
	名称	ぴりぴり	
解説	あめ ふ はじ 雨の降り始めの。こま あまつぶ すこ ふ ようす 細かい雨粒が少し降る様子 【用例】雨がぴりぴり降ってきたなあ。はよ、せんたくもの 洗濯物いれとこ。		

5の113	ジャンル	方言・へ	
	名称	へたら	
解説	そうしたら 【用例】		

5の114	ジャンル	方言・へ	
	名称	へたる	
解説	①すわ こ 座り込む。②こしょう 故障する・しょうもう 消耗する 【用例】まあ、そんなとこへへたったら、ズボンがよご 汚れるで。		

5の115	ジャンル	方言・へ	
	名称	へて	
解説	そして。「へてから」「へてな」「へたら」とも言う。 【用例】		

5の116	ジャンル	方言・へ
	名称	へらへと
解説	むちゃくちゃに。ひどく(たくさん)【用例】今年 ^{ことし} は ^{あたり} 当り年か知らんけど、柿 ^{かき} がへらへとなつとるで。	

5の117	ジャンル	方言・べ
	名称	べっちょない
解説	大丈夫 ^{だいじょうぶ} 。異常 ^{いじょう} なし【用例】ろうか ^{ろうか} でこけたけど、べっちょないわ。	

5の118	ジャンル	方言・ほ
	名称	ほうける
解説	あほになる、だめになる、なまける、夢中 ^{むちゆう} になる【用例】だらだらほうけとつたら、あかんでえ。この豆腐 ^{とうふ} 、ほうけてしもうとる。	

5の119	ジャンル	方言・ほ
	名称	ほかす
解説	捨 ^す てる【用例】こんなとこへ、こんなもん、ほかしたら、あかんでえ～。	

5の120	ジャンル	方言・ほ
	名称	ほげない
解説	味気 ^{あじけ} ない【用例】	

5の121	ジャンル	方言・ほ
	名称	ほっとりぬくい(ほつたらぬくい)
解説	きもち ^{きもち} 悪い ^{わる} ほど、ぬるい【用例】こんなほっとりぬくいもの飲 ^の めんわ・・	

5の122	ジャンル	方言・ほ	
	名称	ほでくる	
解説	かきまわす ほじくる【用例】		

5の123	ジャンル	方言・ほ	
	名称	ほな	
解説	では、それなら 【用例】ほな、もう遅 ^{おそ} うなったし、そろそろいぬわ。		

5の124	ジャンル	方言・ほ	
	名称	ほめく	
解説	はじめじめして、蒸 ^{むし} し暑 ^{あつ} い 【用例】あいさつで「今日は、特別 ^{きょうとくべつ} ほめきまんなあ。(蒸 ^{むし} し暑 ^{あつ} いですね)。」などと使う。		

5の125	ジャンル	方言・ほ	
	名称	ぼんぼらぼん	
解説	余計 ^{よけい} な修飾 ^{しゅうしょく} をいっさい取り除 ^と いたさま 【用例】息子 ^{むすこ} に剪定 ^{せんてい} をさせたら、みんなぼんぼらぼんにしてもたがな。		

5の126	ジャンル	方言・ま	
	名称	まいまいこんこん	
解説	回 ^{かいてん} 転する 【用例】まいまいこんこんしよつたら、目 ^め が回 ^{まわ} るでー		

5の127	ジャンル	方言・ま	
	名称	まなし	
解説	まもなく 【用例】ご飯 ^{はんた} 食 ^た べて、まなしやから、おもちなんか食 ^た べられへんわ。		

5の128	ジャンル	方言・め	
	名称	めぐ	
解説	こわす【用例】どうしよう。お茶碗 <small>ちやわん</small> をめんでもた。		

5の129	ジャンル	方言・も	
	名称	もむない(もみない)	
解説	<small>あじ</small> 味がない【用例】ん～、まずくはないけど……でも、ちよつと、もみないなあ。		

5の130	ジャンル	方言・や	
	名称	やっぱし	
解説	やはり【用例】今 <small>いま</small> 、電話 <small>でんわ</small> かかってたか。やっぱしな。そうやと思 <small>おも</small> とったわ。		

5の131	ジャンル	方言・や	
	名称	やろこい、やりこい	
解説	やわらかい【用例】このお餅 <small>もち</small> まだやろこい(やりこい)で。早 <small>は</small> よ食 <small>た</small> べ。		

5の132	ジャンル	方言・ゆ	
	名称	ゆうちゃろこ	
解説	いってあげましょうか？ 教 <small>おし</small> えてあげましょうか？の意【用例】あんた、そんなこと知 <small>し</small> らんのか？ ゆうちゃろか？		

5の133	ジャンル	方言・よ	
	名称	よーけ	
解説	たくさん【用例】そんなに、おやつよーけ <small>た</small> 食 <small>た</small> べたら、おなか <small>いた</small> が痛 <small>いた</small> くなるよ。		

5の134	ジャンル	方言・よ	
	名称	よさり	
解説	よる夜 【用例】こんなよさに、うろちよろしたらあかんがな。		

5の135	ジャンル	方言・ら	
	名称	らっきゃ	
解説	だいじょうぶ。単に「らく」とも言う。「だっきゃ」とも言う。【用例】〇〇さん、来週の日曜日は？ らっきゃで。		

5の136	ジャンル	方言・わ	
	名称	わっりゃい	
解説	ひかくてき比較的・わりあい 【用例】今日は、わっりゃいあたたかいなあ。		

5の137	ジャンル	方言・わ	
	名称	わやくちゃ	
解説	むちゃくちゃに。おおざっぱ、繊細でない様子。【用例】こないに、わやくちゃなことしてからに。		

6の1	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみのげんりょう(こうぞ) 杉原紙の原料(楮)	
解説	<p>コウゾは桑<small>くわ</small>の仲間で全国各地の野山<small>せいぼく</small>に生えている。成木は3mあまりで4～5月に花が咲き、6月頃に木いちごに似た実がなる。葉が落ちる12月に刈り取る。紙の原料として一番多く使われている。加美区で育てたコウゾを使うと他の土地で育ったコウゾより白い紙ができるそうだ。</p>		

6の2	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ げんりょう 杉原紙の原料(トロロアオイ)	
解説	<p>トロロアオイはオクラ<small>ちゅうごくたいりく</small>の仲間で中国大陸から伝わってきた。別名ハナオクラとも呼ばれて薄黄色<small>うすきいろ</small>の大きな花<small>かみ</small>が咲く。紙漉きにはトロロアオイの根から出る粘液<small>ねんえき</small>「さな」を使う。「さな」はコウゾの繊維<small>せんい</small>をくっつけるのりのような役目をする。</p>		

6の3	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい 紙漉きの工程	
解説	<p>紙すきには全部<small>ぜんぶ</small>で14<small>こうてい</small>の工程がある。①こうぞかり ②こうぞそろえ ③こうぞむし ④こうぞもみ ⑤黒かわとり ⑥川さらし ⑦こうぞほし ⑧こうぞたき ⑨こうぞみだし ⑩こうぞみだし ⑪こうぞたたき ⑫さなてぎ ⑬紙すき ⑭紙ほし</p>		

6の4	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい こうぞ 紙漉きの工程(楮かり)	
解説	<p>霜<small>しも</small>が降り、葉<small>は</small>が落ちる12月に刈り取る。厚鎌<small>あつがま</small>やのこぎりを<small>つか</small>って、切り口が南<small>みなみ</small>の方を向くようにななめに刈る。これは、切り口<small>きくち</small>に日<small>あ</small>が当たってよく乾<small>かわ</small>くようにするため。</p>		

6の5	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい こうぞ 紙漉きの工程(楮そろえ)	
解説	か と こうぞ おな なが き さぎょう がっこう やく 刈り取った楮を同じ長さ (約79cm) に切りそろえる作業。学校では、約79cmにそろえる。		

6の6	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい こうぞ 紙漉きの工程(楮むし)	
解説	大きなむきむし器で蒸す。1時間～1時間半、太い方を下にして蒸す。蒸し上がったら取り出して熱いうちに皮をはいでいく。		

6の7	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい こうぞ 紙漉きの工程(楮もみ)	
解説	こうぞ あらかわ 楮の荒皮をけずり取りやすくするために、足でもみ細かくする。		

6の8	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい くるかわ 紙漉きの工程(黒皮とり)	
解説	しつ よ かみ つく あらかわ たけ 質の良い紙を作るために、荒皮をけずる。竹べらを使い、最初は株の方へ、次に先の方へ向かっていねいにけずる。		

6の9	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい かわ 紙漉きの工程(川さらし)	
解説	くるかわ こうぞ しろかわ ちか すぎはらがわ いっちゅうや 黒皮をけずりとった楮の白皮を近くの杉原川に一昼夜つけ る。冷たい水にさらすほど白い紙ができる。		

6の10	ジャンル	杉原紙	
	名称	紙漉きの工程(楮干し) かみす こうてい こうぞぼ	
解説	川でさらした白皮を十分乾くまで寒空に干す。 しろかわ じゅうぶんかわ さむぞら ぼ		

6の11	ジャンル	杉原紙	
	名称	紙漉きの工程(きずとり) かみす こうてい	
解説	きずを取って美しい繊維だけにする。 と うつく せんい		

6の12	ジャンル	杉原紙	
	名称	紙漉きの工程(楮たき) かみす こうてい こうぞ	
解説	乾燥させた白皮を2時間ほど水につけた後にソーダ灰もしくは灰あくを加えて大釜でたいて白皮をやわらかくする。 かんそう しろかわ じかん あと ばい はい くわ おおがま しろかわ		

6の13	ジャンル	杉原紙	
	名称	紙漉きの工程(楮みだし) かみす こうてい こうぞ	
解説	煮えた楮の皮を清流の中で何回も洗って灰のあく抜きと細かなちりを取り除く。 に こうぞ かわ せいりゅう なか なんかい あら はい ぬ こま と のぞ		

6の14	ジャンル	杉原紙	
	名称	紙漉きの工程(楮たたき) かみす こうてい こうぞ	
解説	楮の皮をたたいて繊維を細かくする。昔は手でたたいていたが、今は機械「うす」でたたいている。 こうぞ かわ せんい こま むかし て いま きかい		

6の15	ジャンル	杉原紙	
	名称	紙漉きの工程(さなてぎ) かみす こうてい	
解説	トロロアオイの根を水につけてやわらかくして、うすでつぶしたものを木綿の袋に入れて粘液(さな)を出す。 ね もめん ぶくろ ねんえき だ		

6の16	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい かみす 紙漉きの工程(紙漉き)	
解説	こま げんりょう しりょう を、水をはすぶね なか い 細かくつぶした原料(紙料)を、水を張った漉き舟の中に入 れてよくかき混ぜ、さなをくわえてすくす げた すく れてよくかき混ぜ、さなを加えて漉き具(漉き桁)で漉く。		

6の17	ジャンル	杉原紙	
	名称	かみす こうてい かみぼ 紙漉きの工程(紙干し)	
解説	す あ かみ き すいふん てきど と のぞ 漉き上がった紙をしばり機にかけて水分を適度に取り除い た後、一枚ずつ干し板にハケではりつけ、ひあたりのよい ばしよ かんそう 場所で乾燥させる。		

6の18	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし すぎはらがみ お 杉原紙の歴史(杉原紙の起こり)	
解説	すぎはらだに かみ す きはじ せいきこうはん かんが 杉原谷で紙を漉き始めたのは、7世紀後半だと考えられ る。		

6の19	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし ならじだい 杉原紙の歴史(奈良時代)	
解説	すぎはらがみ ならじだい はりまがみ よ おも しゃきょう きょう 杉原紙は奈良時代には播磨紙と呼ばれ、主に写経(お経 をうつ つか を写すこと)に使われていた。		

6の20	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし ならじだい 杉原紙の歴史(奈良時代)	
解説	ぜんこく かみ す くに ちか はりま いずも みの 全国には紙を漉く国が20近くあったが、播磨は、出雲、美 濃、越前などとならんでかみ つく せんしんこく し てんびょう 濃、越前などとならんで紙を作る先進国として知られ、天平 16年(744年)には1万枚、天平18年(746年)には1万7千 ねん まんまい てんびょう まん せん 枚の注文が播磨に出されたという記録が残っている。		

6の21	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし ならじだい 杉原紙の歴史(奈良時代)
解説	<p>じょうわ とう みやこちやうあん むかし ちゆうごく みやこ てら 承和3年(836年)、唐の都・長安(昔の中国の都)のお寺に つか ぼう も おく もの なか はりまがみ 使わされたお坊さんが持っていった贈り物の中に播磨紙が あったという記録が残っている。</p>	

6の22	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし へいあんじだい 杉原紙の歴史(平安時代)
解説	<p>へいあんじだい か にっき でんりやく すぎはらしようし ことば 平安時代に書かれた日記『殿暦』の中に相原庄紙の言葉 で せいぎぜんはん すぎはらだにちく ふじわらけ しようえん が出てくる。11世紀前半、杉原谷地区は藤原家の荘園 きぞく しゆうち すぎはらしようし なまえ (貴族の私有地)であったので相原庄紙の名前はそこ う 生まれたのだろう。</p>	

6の23	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし へいあんじだい 杉原紙の歴史(平安時代)
解説	<p>すぎはらしようし さいしよ ふじわらけ つか ふじわら 相原庄紙は、最初は藤原家だけで使われていたが、藤原 け おく もの ほか きぞく てら わた へいあんじだい お 家から贈り物として他の貴族やお寺に渡り、平安時代の終 わり頃から鎌倉時代には、多くの人々に使われるようにな り、「相」の字が「杉」に変わり、「杉原」と略して呼ばれるよ うになった。</p>	

6の24	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし かまくらじだい 杉原紙の歴史(鎌倉時代)
解説	<p>かまくらじだい れきし ほうじょうきゆうだいき なか 鎌倉時代の歴史のあらましを書いた『北条九代記』の中に じょうきゆうがねん すぎはらがみ る ふ か 承久元年(1219年)に「杉原紙はじめて流布す」と書かれて いる。それまで京都の貴族社会でしか使われていなかった すぎはらがみ はじ かまくらぼくふ おく わだい 杉原紙が、初めて鎌倉幕府に贈られ大きな話題になったこ とが分かる。</p>	

6の25	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし かまくらじだい 杉原紙の歴史(鎌倉時代)
解説	<p>それまで経本(お経を書いた本)は全て手書き(写経)だったが、高野山では真言宗を広めるために経本をたくさん作ろうと考え、経本の印刷を始めた。それに一番適した紙として杉原紙が選ばれた。</p>	

6の26	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし かまくらじだい 杉原紙の歴史(鎌倉時代)
解説	<p>鎌倉では、杉原紙は御下文紙と呼ばれて辞令や通達文書などを書く公文書用紙として用いられていた。</p>	

6の27	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし かまくらじだい 杉原紙の歴史(鎌倉時代)
解説	<p>鎌倉時代には、『武士は杉原紙以外の紙には文を書いてはいけない。』というきまりがあった。</p>	

6の28	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし むらまちじだい 杉原紙の歴史(室町時代)
解説	<p>武家社会で贈り物(献上)するときは、必ず杉原紙一束(10帖)と扇一本を贈る「一束一本」の習わしがあった。</p>	

6の29	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし むろまちじだい 杉原紙の歴史(室町時代)
解説	あしかがよしまさ しょうぐん ころ むろまちじだい もとと ぶんか はな 足利義政が将軍だった頃は、室町時代でも最も文化が華 やかな頃だったので、紙の需要も増えて、年貢として近衛 家に納める量も今までになく大量だった。近衛家からはと なりの松井庄へも紙を納めよという命令がきて、松井庄は すぎはらのしょう すぎはらがみ か おさ 杉原庄から杉原紙を買って納めた。	

6の30	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし むろまちじだい 杉原紙の歴史(室町時代)
解説	むろまちじだい こうき いっぱんしゃかい すぎはらがみ おく いっそく 室町時代の後期になると一般社会にも杉原紙を贈る(一束 一本)の風習が広がり、全国各地で杉原紙に似た紙をつく りそれを「〇〇杉原」といってそれぞれの地方で杉原紙とし て使われていた。「〇〇杉原」は全国に20ほどあり、江戸 時代まで続いた。	

6の31	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし あづちももやまじだい 杉原紙の歴史(安土桃山時代)
解説	てんしょう ねん とよとみひでよし あづちじょう おだのぶなが たず 天正9年(1581年)、豊臣秀吉が安土城の織田信長を訪ね たとき、行列の先頭に杉原紙300束があったと太閤記に 記されている。	

6の32	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし えどじだい 杉原紙の歴史(江戸時代)
解説	えどじだい ぜんはん てんな ねん いはらさいかく しゅっぱん 江戸時代の前半、天和2年(1682年)に井原西鶴が出版し た『好色一代男』の中に、「杉原紙にたより書きつづり」とあ り、杉原紙が町民の暮らしにも広まっていったことが分か る。	

6の33	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし えどじだい 杉原紙の歴史(江戸時代)
解説	すぎはらがみ じょうぶ しょうせきよう ようし うきよえ にしきえ 杉原紙は丈夫だったので、書籍用の用紙や浮世絵や錦絵 はんが ようし つか の版画の用紙にもたくさん使われた。	

6の34	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし えどじだい 杉原紙の歴史(江戸時代)
解説	はりまちいき じんじゃ ごへい つく かみ すぎはらがみ つか 播磨地域の神社の御幣を作る紙に杉原紙が使われた。ま えどじだい ひがしはりまちいき こもんじよ すべ すぎはらがみ か た、江戸時代の東播磨地域の古文書は、全て杉原紙に書 かれている。	

6の35	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし えどじだい 杉原紙の歴史(江戸時代)
解説	せいきこうはんごろ いま こうぞ は きなえ 18世紀後半頃から今まで楮が生えていたところに木苗を う はじ りんぎよう さか ぶんせい ねん 植え始めて林業が盛んになってきた。文政3年(1820年)の てんぽう だい ころ しょくりようがそく こお つく 天保の大ききの頃には食糧不足で凍りこんにやく作りが きゅう さか ようさんぎよう さか けん すぎ 急に盛んになった。養蚕業も盛んになり、300軒あった杉 はらがみ す いえ すく 原紙を漉く家がどんどんと少なくなっていった。	

6の36	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし めいじ 杉原紙の歴史(明治)
解説	めいじ ねん きかいず せいしほう つた せいようし 明治5年(1872年)には機械漉きの製紙法が伝わり西洋紙 ぜんこく ひろ ころ きかいず かみ ようし てす が全国に広がった。この頃から機械漉きの紙を洋紙、手漉 きの和紙を「生漉」と呼んでいた。	

6の37	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし めいじ 杉原紙の歴史(明治)
解説	<p>めいじ ねん ねん ころ えどじだい しずおかけん す 明治15年(1882年)頃江戸時代のはじめに静岡県で漉き はじ 始めた「みつまた」を原料とした半紙を杉原谷でも「みつま た」を使って漉くようになり、杉原紙はときどき漉く程度になっ た。</p>	

6の38	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし めいじ 杉原紙の歴史(明治)
解説	<p>めいじ ねん ねん ころ さか けん すぎ 明治45年(1912年)頃、盛んなときには300軒もあった杉 はらがみ す いえ けん うち 原紙を漉く家が30軒に減ってしまっていた。30軒の内20 けん みだに 軒が三谷にあった。</p>	

6の39	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし たいしょう 杉原紙の歴史(大正)
解説	<p>それまでわか ひと ほか しごと ろうじん ほそほそ つづ いていたかみす たいしょう ねん ねん さいご のこ うたかや 弥之助さんもとうとう紙漉きをやめてしまい。杉原紙が途絶 えてしまった。</p>	

6の40	ジャンル	杉原紙
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)
解説	<p>とうじ わし けんきゅう しんむらいずるはかせ じゅがくぶんしょうはかせ がしょうわ ねん すぎはらだに おとず ちょうさ けつ 果、杉原紙の発祥の地がこの杉原谷であることを新村博 士は「和紙研究」に、寿岳博士は「和紙風土記」にくわしく書 かれた。</p>	



6の41	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ ねん もりのいちじ ゆうし すぎ 昭和41年(1966年)、森野一司さんたち有志によって「杉 はらがみはっしょうのち きねん ひ すぎはらだにしょうがっこう こうてい 原紙発祥之地」の大きな記念碑が杉原谷小学校の校庭に た だいじ しんむらはかせ すぎはらかみのれきし じゅがくはか 建てられた。題字を新村博士が、杉原紙の歴史を寿岳博 せ げんざい すぎはらがみけんきゅうしょ うつ 士がそれぞれ書かれた。現在は、杉原紙研究所に移され ている。		

6の42	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ ねん きょうどしか ふじたさだお 昭和45年(1970年)、郷土史家の藤田貞雄さんによって すぎはらがみ はっこう 「杉原紙」が発行された。		

6の43	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ ねん わか ころ かみす ひと ちゅうしん どう 昭和45年(1970年)、若い頃に紙漉きをした人を中心に道 ぐ あつ うたかやのすけ 具が集められ、宇高弥之助さんの手によって50年ぶりに すぎはらがみ す 杉原紙が漉かれた。		

6の44	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ ねん ちょうりつ すぎはらがみけんきゅうしょ た 昭和47年(1972年)、町立の「杉原紙研究所」が建てられ、 むかし ぎほう ほんかくてき すぎはらがみ す はじ 昔どおりの技法で本格的に杉原紙が漉かれ始めた。		

6の45	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ ねん ねん ど すぎはらだにしょうがっこう かみす はじ 昭和56年(1981年)度から杉原谷小学校で紙漉きが始ま る。		

6の46	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ ねん すぎはらがみ ひょうごけん じゅうようむけいぶんかざい 昭和58年(1983年)、杉原紙が兵庫県的重要無形文化財 に指定された。		

6の47	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ ねん こうべ ひら たいかい 昭和60年(1985年)、神戸で開かれたユニバシアード大会 の表彰状に使用された。		

6の48	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし しょうわ 杉原紙の歴史(昭和)	
解説	しょうわ ねん すぎはらだにしょうがっこう こうてい かみすぎじっしゅうしつ 昭和62年(1987年)、杉原谷小学校の校庭に紙漉実習室 「春蘭の家」が建つ。		

6の49	ジャンル	杉原紙	
	名称	すぎはらがみ れきし へいせい 杉原紙の歴史(平成)	
解説	へいせい ねん こうぞ じきゅうりつ あ きゅうかみちょうな 平成6年(1994年)、楮の自給率を上げるため、旧加美町 内で楮の「1戸1株栽培運動」が始まる。		

7の1	ジャンル	特産品	
	名称	ひやくにち 百日どり	
解説	<p>地元加美区のおいしい水と空気の中で100日間かけてじっくりと育てられているにわとり。放し飼いにされているので運動量が多く、その分、肉がひきしまつて、とても、おいしい。</p>		

7の2	ジャンル	特産品	
	名称	ゆうせいらん 有精卵	
解説	<p>地元播州地鶏・百日どりのオス鶏とメス鶏が交尾して受精した卵である。あの有名な「小山ロール」でも使われている。</p>		

7の3	ジャンル	特産品	
	名称	きよしま米	
解説	<p>清嶋地区(山寄上・鳥羽・清水)の冷たくてきれいな水からできているコシヒカリ。兵庫県の認証米に指定されている。毎年、伊勢神宮へ献上米として奉納されている。</p>		

7の4	ジャンル	特産品	
	名称	ラベンダーパーク多可・卵かけご飯	
解説	<p>地元の有精卵で食べる卵かけご飯。卵かけご飯専用の醤油油がたくさん置いてあり、お好みで食べられる。おかわり自由である。</p>		

7の5	ジャンル	特産品	
	名称	ラベンダーパーク多可・にく ^{まい} 米めん	
解説	ラベンダーパーク多可で食べられる米でできた ^{めん りょうり} 麺料理。もちもちして、おいしい。		

7の6	ジャンル	特産品	
	名称	こはる ^{まい} 米	
解説	おやこ ^{こう} 孝行で家計を助けた森安 ^{かけい} こはるさんにちなんでむらづくりに取り組む市原集落が ^{とくさんひん} 特産品として販売しているお米。 ^{はんばい} (コシヒカリ)		

7の7	ジャンル	特産品	
	名称	こお ^{凍り} こんにゃく	
解説	300年 ^{いじょう} 以上前から作られているこんにゃくの ^{ほぞんしよく} 保存食。「幻の凍りこんにゃく」とも呼ばれている。昔ながらの ^{まほろし} 手作業で寒い12~2月に作られており、例えば、製品を白くするのは「 ^{てんび} 天日」で、乾燥は「 ^{かんそう} 自然風乾燥」である。食用だけでなく「 ^{せんがん} 洗顔用スポンジ(つやの ^{たま} 玉)」として ^{しょうひん} 商品化されている。		

7の8	ジャンル	特産品	
	名称	ハーモニーパークのりんご、梨、栗など	
解説	<p>ハーモニーパークのりんごは兵庫県認証商品になっている。実に直接農薬がかからないように二重の袋を被せて栽培しているの、安心して皮ごと食べられる。りんご狩りは9月～11月まで楽しめる。しかも、食べ放題。他にも、梨、栗など果物がいっぱい。</p>		

7の9	ジャンル	特産品	
	名称	はせがい紅茶	
解説	<p>箸荷地区で摘まれた一番茶で作った紅茶。そばくな風味で評判は絶好調また、箸荷紅茶の茶葉をねりこんだ紅茶うどん(乾麺と冷凍麺の2タイプ)。茶葉をねり込んだ紅茶クッキーがある。</p>		

7の10	ジャンル	特産品	
	名称	ジェラテリアふれっしゅあぐり館のアイスクリーム	
解説	<p>原料には、地元箸荷牧場の牛乳を使っている。また、加美区産の素材を材料にしている。季節限定のものもある。</p>		

7の11	ジャンル	特産品	
	名称	ジェラテリアふれっしゅあぐり館のシカ肉料理	
解説	<p>低カロリー、低脂肪、高タンパク、栄養価に優れた健康食品である。「シカタリアン」(ナポリタン)やシカ肉ピザ、パイなどが食べられる。</p>		

7の 12	ジャンル	特産品	
	名称	菜種 <small>なたね</small> の菜 <small>な</small> っちゃん	
解説	菜の花エコプロジェクト(観音寺、箸荷、門村、杉原)が商品 <small>しょうひ</small> 化した菜種油 <small>なたねあぶら</small> 。		

7の 13	ジャンル	特産品	
	名称	観音寺 <small>かんのんじ</small> 原木 <small>げんぼく</small> なめこ	
解説	観音寺村づくりクラブが栽培 <small>さいばい</small> しているなめこ。伐採 <small>ぼっさい</small> される桜 <small>さくら</small> の木 <small>ゆこう</small> を有効活用 <small>かつよう</small> して作られている。		

8の1	ジャンル	じんぶつ 人物
	名称	やまぐち もきち こ ころ 山口茂吉(子どもの頃)
解説	きょうど かじん たんか つく ひと やまぐち もきち めいじ ねん 郷土の歌人(短歌を作る人)山口茂吉は、明治35年(1902 ねん きよみず のうか う きよしま じんじょうしょうがっこう そつぎょうご ちち 年)清水の農家に生まれた。清島尋常小学校卒業後は父 はは とも やま しごと はたけ さぎょう すこ ひま や母と共に山の仕事や畑の作業をしながら少しの暇をみ つけてはほん よ を読むなど勉強好きの子どもであった。	

8の2	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち しょうねん せいねん 山口茂吉(少年～青年)	
解説	たいしょう ねん ねん さい とき じつぎょうか ゆめみ 大正7年(1918年)16歳の時、実業家を夢見てふるさとを で ねん ねん こうべ はたら えいご べんきょう 出て、1年あまりは神戸で働きながら英語の勉強などをし た。その後、大正9年(1920年)の春東京へ出て、働きなが ら くろく べんきょう たいしょう ねん ねん ちゅうおうだいがく しょうがくぶ ら苦勞して勉強し、大正13年(1924年)に中央大学商学部 を そつぎょう 卒業した。		

8の3	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち たんか みち 山口茂吉(短歌の道へ)	
解説	かんとう だいしんさい ご ふけいき しゅうしょくなん とき みごと 関東大震災後の不景気で就職難の時であったが、見事、 めいじ せいめいほけん がいしゃ どうきょうほんしゃ にゅうしゃ しゃかいじん 明治生命保険会社東京本社に入社した。社会人となった もきち まえ かんしん たんか みち 茂吉は、前から関心をもっていた短歌の道をこころざし「ア ララギ」に に入会し、作歌の勉強に 励んだ。そして、翌年、山 ぐち もきち じんせい おお えいきょう さいとう もきち であ 口茂吉の人生に大きな影響をおよぼした斎藤茂吉と出会 い、助手として「アララギ」の編集などに活躍した。二人のこ とを やまがた だいまきち すぎはら しょうもきち また とを「山形の大茂吉、杉原の小茂吉」又は「アララギの大茂 ち しょうもきち ひとびと よ 吉と小茂吉」と人々は呼んだ。		

8の4	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち かつやく 山口茂吉(活躍)	
解説	しょうわ ねん ねん がつ しょじょ かしゅう はじ だ かしゅう あか 昭和16年(1941年)1月に処女歌集(初めて出す歌集)「赤 つち はっこう よくとし かしゅう すぎはら はっこう しんしん かじん 土」を発行し、翌年には歌集「杉原」を発行し、新進歌人の なか だいいちにんしや ひょうか 中で第一人者だと評価された。		

8の5	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち やまい たたか 山口茂吉(病と闘いながら)	
解説	せんそうちゅう かるう ろくまくえん びょうき つぎつぎ 戦争中の過労によって肋膜炎という病気になってから次々 きまざま びょうき ながら たんか かつどう つづ しょうわ に様々な病気になりながらも短歌の活動を続け、昭和21 ねん ねん ねん だい かしゅう かいじつ しゅつぽん よく ねん ねん 年(1946年)に第3歌集「海日」を出版。翌22年(1947年)に かし そうかん しょうわ ねん ねん は歌誌「あざみ」を創刊した。また、昭和25年(1950年)1 がつ ひら きゅうちゅうねん うたかい はじ みんかんじん はじ 月に開かれた宮中新年歌会始めに民間人として初めてそ かい さんか き ゆる のち しょうわ ねん の会に参加して聴くことを許された。その後、昭和26年 ねん ねん だい かしゅう たかみず しゅつぽん しょうわ ねん (1951年)には第4歌集「高清水」を出版し、昭和27年 ねん ねん しんぶんしや ざっし しゃ せんじや かつ (1952年)からは、NHK、新聞社、雑誌社の選者としても活 やく しょうわ ねん ねん ねん さいげつ 躍した。さらに、昭和28年(1953年)からは5年の歳月をか こうはい ふたり とも さいとう もきち ぜんしゅう ぜん かん かんせい け後輩二人と共に「斎藤茂吉全集」(全56巻)を完成させ た。そして、よくしょうわ ねん ねん がつ にち さい わか 翌昭和33年(1958年)4月29日、55歳の若さ えいみん で永眠した。		

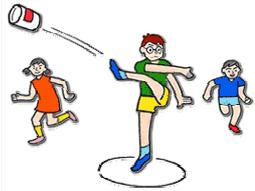
8の6	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち ごと 山口茂吉(その後)	
解説	やまぐち もきち しご ねんた しょうわ ねん ねん がつ ふじん 山口茂吉の死後2年経った昭和35年(1960年)6月、夫人 て だい かしゅう てっせん はっこう の手によって、第5歌集「鉄線花」が発行された。		

8の7	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち かひ 山口茂吉(歌碑)	
解説	<p>はる ゆきみねぶ さむ 春の雪峯降りつつ寒からむ わがふるさとの村を思へば きよみず ほくぶ たいいくかん まえにわ うた きざ か ひ 清水にある北部体育館の前庭にこの歌が刻まれた歌碑が た 建っている。</p>		

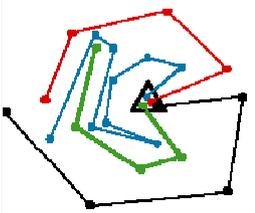
8の8	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち さくひん 山口茂吉(ふるさとにちなんだ作品)	
解説	<p>はる ゆきみねぶ さむ ひ はは ひと ひ お 春の雪嶺降りにして寒き日をわれ母のへに一日居りつつ ふるさとのすぎはら よ そら ほたる よ ぐろぞいま ふるさとのたかやますそ こ 鳴くひぐらしのこゑのさびしさ たんばじ ひかみ こ とうげみ 丹波路の氷上へ越ゆる峠見ゆ かやの かれ 萱野はいまだ枯いろにして</p>		

8の9	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち さくひん 山口茂吉(ふるさとにちなんだ作品)	
解説	<p>あしびきの やま くだ ゆうぐも ふもと てら かね あしびきの山より下る夕雲に麓の寺の鐘はひびかふ あさ まだき やま はたけ き こんにやくだま ちち ほ 朝まだき山の畑に來りけり蒟蒻玉を父と掘るべく いまだ ひ く 昏れざるに な しか 鳴く鹿のこゑ ふえ ふ た か の かみ 笛吹くごとし多可の野の上に くわ み くち そ は 桑の実に口ろく染めわが食みし いとけなき ひ おも 日を想へりけふは</p>		

8の10	ジャンル	じんぶつ 人物	
	名称	やまぐち もきち うた さんぽみち 山口茂吉(歌の散歩道)	
解説	きよみず むら なか には やまぐち もきち うた しる ひょうちゆう ほんた 清水の村の中には山口茂吉の歌を記した標柱が28本立 てられており、茂吉の歌に親しみながら散歩ができる歌の 散歩道がある。		

9の1	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	かん 缶けり	
解説	<p>1人がオニになる。広場の中心に空き缶を置く。誰でもいいから缶を蹴る。それを、オニが取りに行ってる間に他の子は隠れる。隠れた子を鬼がみつけると、捕まえることができる。しかし、全員が捕まる前にまた、誰かが缶を蹴れば、つかまったこども達もまた、逃げ隠れできる。全員が捕まるまで終わらないゲーム。</p>		

9の2	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	どうま うまの 胴馬・馬乗り	
解説	<p>6人から12人ぐらいで遊ぶ。2組に分かれ、「馬組」は揺り動かして乗る者を落とそうとし、「乗り手組」はできるだけ乱暴にのって馬をつぶそうとする遊び。馬組の1人は立ち木や壁などを背にして立ち、次の人はその股の間に頭を入れて、次々とつながって馬をつくる。乗り手組は全員が乗れるように、先頭の子はなるべく遠くに飛び乗り、飛びはねて馬をつぶそうとする。途中で馬がつぶれれば、もう一度やりなおし、また乗り手が1人でも馬から落ちれば、馬組と乗り手組は交代する。全員が運良く乗ったら、立っている子と乗り手の先頭の子がジャンケンをして、負けた方が次の馬になる。</p>		

9の3	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	くぎ 釘さし	
解説	<p>2人ぐらいから4人ぐらいで遊びます。ジャンケンで勝った人から順番に、地面に左廻りに釘(五寸釘)を打ち込みます。前のところと次のところを直線で結び、他の人の釘を自分の線で囲んで出られなくした人の勝ちになります。</p>		

9の4	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	えすけん Sケン	
解説	Sの字の周辺に島を4～5個つくり、Sの字内と島では両足で行動できる。その他はケンケン。Sの字の奥にそれぞれ宝をつくり、それを踏めば勝ちということで、次のゲームが始まる。		

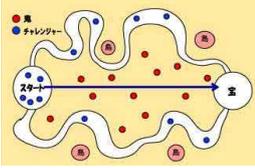
9の5	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	ツバキの実の笛	
解説	石やサンドペーパーなどでこすり、てっぺんに穴をあけ、切り取った穴に楊枝などを入れ中身をかき出す。下唇にあて、さらに上唇で覆うようにして強く息を吹き込む。今の子はどんぐりで作っている。(どんぐり笛)		

9の6	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	おはじき	
解説	①おはじきをする”おはじき玉”(ガラス玉)を参加者が何個ずつ出す。②そのおはじきを、片手の中でじゃらじゃらさせて地面(またはテーブル)にばらまく。③ジャンケンで順番を決める。勝った物からスタートおはじきのどれかの2つ(A、B)をぶつけ合う。うまくぶつかったら、そのAとBの間に他のおはじきを通す(通過させる)。④うまく通ると、その通った石がもらえる。その際、他のおはじきにぶつかってはいけない。最後の2つになったら、間に指でシキリを切ってゲット。		

9の7	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	たけ 竹とんぼ	
解説	竹をプロペラ状に削って、その羽の重心部に軸をつけた遊び道具。竹軸を両手のひらでぐるぐるもみ回し、その反動で羽を回転させ、飛ばして遊ぶ。		

9の8	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	たけうま 竹馬	
解説	2本の竹さおにそれぞれ適当な高さの足かけをつくり、馬になぞらえてこれに乗り、竹の上部を握って歩きます。		

9の9	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	めんこ	
解説	地面に全員のめんこを1枚ずつ置く。それを裏返してめんこを手に入れるのが目的である遊び。地面や相手のめんこに自分のめんこをぶつける事で生じる風圧を利用するのが重要になってくる。		

9の10	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	たから 宝ふみ	
解説	地面に円を描き、その周りに曲線で道をつくる。わざと細くしたり広くしたりして描く。広い部分は安全地帯となる。鬼に押し出されたり引き込まれたりしないようにする。中に入り相手を押し出したりして、宝を踏めば勝ち。		

9の11	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	オニごっこ	
解説	1人がオニになって、他の者たちを追い回し、つかまった者が次のオニとなる遊び。		

9の12	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	おしくらまんじゅう	
解説	<p>複数人で互いに背中や肩を押し合っている遊び。皆で押し合うと暖かいので、主に秋や冬などの寒い時期に行う。「おしくらまんじゅう、押されて泣くな」という掛け声をかけて遊ぶ。</p>		

9の13	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	たこ 凧あげ	
解説	<p>たこ 凧を空高くあげたり、みんなで高さを競ったりする。</p>		

9の14	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	すいめんいしな 水面石投げ	
解説	<p>溜め池や川のあるところで、まず平べったい石を探し、池や川の水面で石が跳ね飛ぶよう投げる。その跳ね飛ぶ回数を競う遊び。</p>		

9の15	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	すいらいかんてい すいくち・水雷鑑定	
解説	<p>オニごっこ^{いっしゅ}の一種。それぞれメンバーを集めて、水雷^{すいらい}、艦艇^{かんてい}、艦長^{かんちょう}等の役割を決める。水雷は艦艇に勝ち、艦艇は艦長に勝ち、艦長は水雷に勝つ。三竦みの役割分担で、その標識は野球帽^{ひょうしき}の被り方^{かぶ}(つばを前に、後に、横に)で表し、入り乱れて負ける相手を避けながら勝てる相手を捕虜にする。艦長が捕虜になるか他の全員が捕虜になるかで勝ち負けが決まる。</p>		

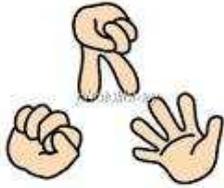
9の16	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	うずまきじゃんけん	
解説	<p>地面に渦巻きの絵を書いて、2つのグループに分けてうずまきの中心と外に分かれて、よ〜い・どんで走ってぶつかったらじゃんけんをする。負けたら次の人がスタートする。早く相手の陣地に入ったら、勝ち。</p>		

9の17	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	ビー玉	
解説	<p>自分の目の高さからビー玉を落として、床に置いてあるビー玉に命中させるという遊び。この遊びは2人くらいでやるのがおすすめ。こちらも見事当てることができれば、そのビー玉はもらえる。結構高い位置から落とすので、かなりの衝撃。ビー玉が飛び散ってもいい場所で遊ぶこと。その他にもいろんな遊び方がある。</p>		

9の18	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	かげふみ	
解説	<p>晴れた日に外に出てみんなで走り回れるような大きな円を地面に描く。ジャンケンをしてオニを1人決める。みんなはオニに影を踏まれないように円の中を逃げ回る。オニは他のみんなの影を踏まなければならない。オニに影を踏まれた人が今度はオニになる。</p>		

9の19	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	靴とばし	
解説	<p>みんながはいている靴を蹴り出して明日の天気を占う。「あーした てんきに なーれ」と言いながら靴を飛ばす。靴が表向きになったら「晴れ」裏向きになったら「雨」横向きになったら「くもり」という具合。</p>		

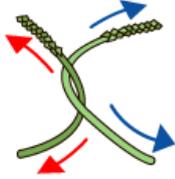
9の20	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	おてだま	
解説	おじゃみを使って、遊ぶ。		

9の21	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	どんほい	
解説	<small>ぐんかん</small> 軍艦(グー)、 <small>ちんぼつ</small> 沈没(チョキ)、 <small>はれつ</small> 破裂(パー)で、じゃんけんで勝ちに当たる人が、かけ声をかける。同じ手になると、かけ声をかけた人の勝ち。		

9の22	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	ゴムとび	
解説	ルールは色々。		

9の23	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	<small>ひみつきち</small> 秘密基地づくり	
解説	山や林の中で、子供だけの <small>ひみつきち</small> 秘密基地を作る。		

9の24	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	まりつき	
解説	今のバレーボールのボールぐらいの大きさのゴムボールを使う。1人ずつまりを「まりつき歌」にあわせて、まりをつき、フレーズごとに足をまりの上で回し、最後に <small>さいご</small> 最後に <small>また</small> 股の <small>あいだ</small> 間をくぐらせ、後ろ手で、お尻 <small>しり</small> のあたりで、まりつき歌が終わるのに合 <small>あ</small> わせてキャッチして完了。		

9の25	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	草相撲 くさずもう	
解説	<p>草を切ってくる。切ってきた草をお互いにX交差するように持つ。そして、力で引き合いをする。切れたら負け。それだけのゲーム。単純なだけに草のある限りつづく。学校帰りにはもってこいの遊び。</p>		

9の26	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	割箸鉄砲 わりばしてっぽう	
解説	<p>わりばしと輪ゴムで鉄砲をつくり、また標的もつくり、当てあいつこをする。</p>		

9の27	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	だるま落とし だるまおとし	
解説	<p>一番上にいる、だるまさんを転がさないように、下の積み木を木槌でたたき抜く遊び。</p>		

9の28	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	パチンコ	
解説	<p>形の良いY字型の枝をさがし、強いゴムを取り付け、的をつくり当てっこする。</p>		

9の29	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	だるまさんがころんだ	
解説	<p>みんなでジャンケンをしてオニを1人^き決める。他のみんなはオニから少しはなれたところにスタートラインを引き、そこから「はじめの1歩！」と言ってオニに近づく。オニは後ろを向いたまま「だるまさんがころんだ」と大きな声でさけんでから^ふ振り向く。その時、みんなは動いてはいけない。オニは^{だれ}誰か動いていないかをチェックする。動いた人はオニに^{つか}捕まりオニと手をつないで、みんなの^{たす}助けを待つ。</p>		

9の30	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	ゆびずもう 指相撲	
解説	<p>2人で向き合います。お互い^{たが}の手(右手でも左手でもいい)を^{にぎ}握りあう。この時、^{おやゆび}親指は立てておく。「よーいドン」の合図で相手の親指を押さえつける。押さえつけた人は10数えたら勝ちになる。</p>		

9の31	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	あやとり	
解説	<p>ひもや毛糸でいろいろな形を作って遊ぶ。あやとりには1人で遊ぶ「ひとりあやとり」や2人で遊ぶ「ふたりあやとり」などがある。あやとりで作れる形には『ほうき』・『一段はしご』・『二段はしご』などいろいろな形ができる。</p>		

9の32	ジャンル	杉原谷のくらし・昔の遊び	
	名称	かんば 缶馬(缶ぽっくり)	
解説	<p>あ^{かん}空き缶にクギなどで穴をあける。そこにひもを通して中に結び目を作り、ひもが抜けないようにする。1人2こつくる。缶の上に乗^{たけうま}りひもをもつ。(竹馬の竹の代わりに缶をつかったもの)競争^{きょうそう}をして遊んでもおもしろい。</p>		